

平成31年度

教育行政の主要施策

群馬県教育委員会

平成31年度 教育委員会運営方針

1 基本方針

人口減少と人口構成の変化に加え、急速な技術革新やグローバル化の進展等により社会全体が変容し、教育をめぐる状況も変化しています。こうした変化に対応し、予測困難な未来を生き抜く力を育むための取組を進めるとともに、自殺やいじめの防止といった様々な課題に引き続き取り組む必要があります。

教育委員会では、群馬の未来を担う人づくりを着実に推進するため、平成31年度からの5カ年計画である第3期群馬県教育振興基本計画を策定し、基本目標「たくましく生きる力をはぐくむ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～」の下、次の8つの基本施策に沿った取組を展開します。

2 8つの基本施策

(1) 時代を切り拓く力の育成

- 子どもたちがそれぞれの人生設計を描けるように、社会的・職業的自立に必要な能力を育成します。
- 郷土に関心を持ち、群馬で生まれ育ったことに誇りと愛着を持つ子どもを育てます。
- グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を育むとともに、自国と他国の文化への理解を深めます。

(2) 確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、学びに向かう力を育みます。
- 探究的・発展的な学習により社会へ参画する力を育成し、自らの力で課題解決できる子どもを育てます。

(3) 豊かな人間性の育成

- 道徳教育や人権教育を通して自他を大切にする心や自己肯定感を育み、体験活動やボランティア活動への参加を通して社会性や規範意識を持った子どもを育成します。
- いじめ防止に努め、良好な人間関係を築く力を育成します。
- 本物の文化芸術や自然に触れることにより豊かな感性を育成します。

(4) 健やかな体の育成

- 心身の健康を保持増進し、群馬の未来を担う明るく元気な児童生徒を育むため、体力向上に向けた取組や、食育を推進します。

(5) 信頼される学校づくり

- 各学校の特性を活かした質の高い教育を推進し、保護者や地域社会との信頼関係を深めます。
- 教員の大量退職や様々な課題への対応に向け、教員の指導力向上を図るとともに、教職員が力を十分発揮できる職場の環境整備を推進します。
- 障害のある子とない子の交流及び共同学習を推進するとともに、各学校における特別の支援を必要とする児童生徒への指導を充実します。

(6) 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

- 学校の施設整備や、防災・防犯、交通安全対策、就（修）学支援等、安全・安心な教育環境を確保します。
- 災害や交通事故等から自分自身や周りの人を守る力を育成します。

(7) 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進

- 質の高い就学前の教育・保育の提供を推進します。
- 市町村や民間団体と連携して家庭教育を支援します。
- 地域と連携・協働し、学校を核とした地域づくりを推進します。

(8) 生涯学習社会の構築

- 学校・家庭・地域・NPOなどの連携・協力体制を構築し、社会教育や生涯にわたる多様な学びを推進します。

平成31年度 教育委員会施策体系及び主要事業

目標	施策	主要事業	予算額	担当所属	
たくましく生きる力をはぐくむ 自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う	(1) 時代を切り拓く力の育成	時代に合ったキャリア教育の充実	キャリア教育推進（研修）、群馬県キャリア教育推進、キャリア教育サポート事業、主催者教育等	570千円	総合教育センター、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課
		実践的な職業教育の推進	Gワークチャレンジ・高校生インターンシップ推進、次代を担う職業人材育成、次代を担う職業人材育成のための教育設備充実、社会人講師活用	280,312千円	管理課、高校教育課
		特別の支援を必要とする生徒への就労支援の充実	特別支援学校職業自立推進、特別支援学校作業学習充実	36,857千円	特別支援教育課
		文化芸術や尾瀬等の郷土資源を活用した学びの推進	群馬県高等学校総合文化祭、自然・歴史・文化遺産研修、尾瀬学校充実プログラム	2,646千円	総合教育センター、義務教育課、高校教育課
		古代東国文化や世界遺産をはじめとした郷土の文化遺産を活用した学びの推進	ぐんまの寺社魅力発掘・発信、文化財保存事業費補助、埋蔵文化財調査センター運営、上野国分寺跡整備、古墳・金井東裏遺跡情報発信、「歴史の道」活用促進等	190,664千円	文化財保護課
		国際理解教育	高校生国際交流促進	3,672千円	高校教育課
		豊かな語学力の育成	英語教育アドバイザー教員配置、外国語指導助手支援員、外国語指導助手招致	140,848千円	管理課、学校人事課、義務教育課、高校教育課
確かな学力の育成	(2)	身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成	ぐんま少人数クラスプロジェクト（さくらプラン、わかばプラン）	1,277,200千円	管理課、学校人事課
		学習習慣・生活習慣の確立	ぐんま「確かな学力」育成プロジェクト（「はばたく群馬の指導プランⅡ」配布・活用、全国学力学習状況調査分析、学校教育の指針作成、新教育課程説明会、プログラミング教育充実等）等	149,049千円	義務教育課
		理数教育の推進	高校生ステップアップサポート事業、高校生Gアッププロジェクト	436千円	高校教育課
		プログラミング教育の充実、情報活用能力の育成	県立学校ICT環境整備、科学の甲子園群馬県大会、科学の甲子園ジュニア群馬県大会、高校生数学コンテスト	98,108千円	管理課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課
豊かな人間性の育成	(3)	体験的な活動の充実	青少年自立・再学習支援（G-SKY Plan、学びを通じたステップアップ支援促進事業）、青少年自然体験等事業	12,944千円	生涯学習課
		道徳教育・人権教育の推進	道徳教育総合支援事業、人権教育研修・指導、人権教育指導者養成講座、集会所等における人権教育推進等	8,421千円	義務教育課、生涯学習課
		児童生徒の心のケアシステム推進、自殺の防止	SNSを活用した相談体制構築に向けた調査研究、児童生徒の心のケアシステム推進（スクールカウンセラー、自立支援アドバイザー、適応指導者講習会等）	321,969千円	義務教育課、高校教育課
		いじめの正確な認知に基づく適切な対応 いじめを許さない心を育むための児童生徒による自主的な活動の支援	いじめ問題対策推進（いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止フォーラム等）、いじめ対策（相談対応）、群馬県いじめ問題等対策委員会等	13,472千円	総務課、総合教育センター、義務教育課、高校教育課
健やかな体の育成	(4)	学校体育の充実	学校体育指導協力者派遣、ぐんまの子どもの体力向上推進事業、オリンピック・パラリンピック教育推進	6,636千円	健康体育課
		運動部活動の推進と適正な運営	運動部活動指導員配置促進、スポーツエキスパート活用、地域スポーツ人材の活用実践支援、全国高校総体事務局運営及び実行委員会費補助	164,392千円	健康体育課
		健康教育・食育の推進	エイズ教育充実・強化、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実・推進、がん教育推進、学校給食ぐんまの日、学校における食育推進	1,265千円	健康体育課
		適正な健康管理	児童生徒健康診断、学校保健総合支援事業	62,142千円	健康体育課

目標	施策	主要事業	予算額	担当所属	
たくましく生きる力をはぐくむく自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う	(5) 信頼される学校づくり	教員の指導力向上	スクール・サポート・スタッフの配置、教育研修員研修、研修支援隊、学校における職場環境の整備（教職員の多忙化解消に向けた協議会）等	80,071千円	総合教育センター、 学校人事課
		様々な課題への対応力の向上 生徒指導体制の充実	学びと家庭のサポート（スクールソーシャルワーカー、生徒指導担当嘱託員の配置、問題行動対策会議、携帯インターネット問題講習会）等	48,105千円	義務教育課
			学校非公式サイト等調査・監視	1,870千円	高校教育課
		教職員の健康の保持増進	職員保健管理（定期健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルス対策）等	44,648千円	福利課、総合教育センター
		障害のある子への適切な対応等	特別支援学校医療的ケア支援、特別支援教育センター運営	65,573千円	総合教育センター、 特別支援教育課
		特別支援学校の整備	藤岡特別支援学校整備、特別支援学校スクールバス運行等	1,339,316千円	管理課、特別支援教育課
		特別支援学校のセンター的機能強化等	小中学校・高等学校等相談支援、交流及び共同学習推進	16,313千円	特別支援教育課
	地域とともにある学校づくり 高校教育改革の推進	桐生・みどり地区新高校整備、高校教育改革推進、尾瀬ハートフルホーム・システム運営、学校支援センター運営推進、コミュニティ・スクールの設置推進	1,553,015千円	管理課、義務教育課、 高校教育課	
	(6) 防安全・安心・危機対応学能力の場づくりと	学校施設の長寿命化の推進 県立学校施設・設備整備	学校施設長寿命化推進、県立学校等空調設備整備、県立学校施設ブロック塀安全対策等	1,772,954千円	管理課
		ICT環境の整備と情報セキュリティの確保	県立学校における情報セキュリティ対策（ぐんまスクールネット運営、生徒情報管理システム）、県立学校緊急情報セキュリティ対策	520,660千円	管理課、総合教育センター
就(修)学、多様な教育機会確保のための支援、外国人児童生徒の教育の充実		帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援、外国人児童生徒等教育・心理サポート、就学支援金、奨学のための給付金、特別支援教育就学奨励等	4,926,486千円	管理課、義務教育課、 高校教育課、特別支援教育課	
防災教育の推進		学校安全総合支援	2,200千円	健康体育課	
安全確保と安全教育の充実		地域ぐるみの学校安全体制整備推進、交通安全教育推進	708千円	健康体育課	
(7) 推進学向家庭・地域の連携と協働の教育力	質の高い就学前の教育の推進	幼児教育応援、就学前のぐんまの子どもはぐくみプラン推進、幼児教育・職務研修等	3,056千円	総合教育センター、 義務教育課	
	家庭教育支援の推進	家庭教育応援、生涯学習センター運営（家庭教育に関する指導者の養成）等	1,019千円	生涯学習課、健康体育課	
	学校・地域の連携・協働の充実	地域学校協働活動推進事業、学校支援センター運営推進	36,699千円	生涯学習課	
(8) 生涯学習社会の構築	多様な課題に対応した学習機会の充実	生涯学習センター運営（ぐんま県民カレッジ、まなびねっとぐんま等）、国重文指定文書保存整理、教育普及活動（古文書講座等）等	5,818千円	生涯学習課、文書館	
	社会教育施設の有効活用	生涯学習センター施設管理、生涯学習センター少年科学教育推進、ぐんま天文台運営、ぐんま昆虫の森運営	249,813千円	生涯学習課	
	読書活動の充実と県立図書館の機能強化	図書館運営（子どもの読書活動推進、図書資料整備、市町村・学校等支援、資料情報サービス、第5次図書館情報提供システム運用等）	172,030千円	生涯学習課	
	地域の学びを支える人材づくり	県教育番組制作放送、社会教育委員会運営、社会教育委員研究会議、社会教育研修支援	64,765千円	生涯学習課	
	青少年教育の推進	青少年会館運営、青少年自然の家運営、【再掲】青少年自立・再学習支援（G-SKY Plan）、学びを通じたステップアップ支援促進事業）、青少年自然体験等事業	112,709千円	生涯学習課	

(注)

1. 主要事業欄のうち、「平成31年度教育行政の主要施策」に事項名として掲載されている事業を太字で表記しています。
2. 「平成31年度教育行政の主要施策」に掲載されている事項名の一部は、主要事業欄の「等」に含めています。また、予算額欄に計上しています。
3. 担当所属欄には、主に主要事業の予算を取り扱う所属を記載しています。

平成31年度 教育行政の主要施策 目次

1 時代を切り拓く力の育成	1
2 確かな学力の育成	20
3 豊かな人間性の育成	24
4 健やかな体の育成	33
5 信頼される学校づくり	40
6 安全・安心な学びの場づくりと 防災・危機対応能力の育成	46
7 家庭の教育力向上と 学校・地域の連携・協働の推進	59
8 生涯学習社会の構築	63
9 その他	73

【参考資料】

○平成31年度当初予算の概要	74
○「第15次総合計画」実現のための主な事業	77
○教育委員会の点検・評価(抜粋)	79
○主要施策担当課別・事項別索引	86

1 時代を切り拓く力の育成〈時代に応じたキャリア教育の充実〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
キャリア教育推進(研修)	78	総合教育センター

○目的・趣旨

キャリア教育に関する研修を体系的に実施し、将来、社会人・職業人として自立できる児童生徒を育成するキャリア教育の推進に資する。

○内容

教員を対象にした「新任進路指導主事研修」(指定研修)、「キャリア教育実践研修」(指定研修)、「進路指導主事研修講座」(希望研修)、教職員や県民を対象にした「キャリア教育を考える」(公開講座)を実施する。

群馬県キャリア教育推進	61	義務教育課
-------------	----	-------

○目的・趣旨

キャリア教育研究大会を通して、特別活動を要とし、義務教育9年間を見通したキャリア教育の充実を図る。

○内容

- ・小中学校の代表による実践発表及び、有識者による新学習指導要領を踏まえた講演会を実施する。
- ・キャリア教育の在り方や実践例を示したガイドブック「ぐんまのキャリア教育」の活用について周知する。

キャリア教育サポート事業	356	高校教育課
--------------	-----	-------

○目的・趣旨

望ましい勤労観や職業観を育成し、生徒が進路選択や将来設計に主体的に取り組むことができるようキャリア教育を推進する。

○内容

- ・各学校において、キャリアアドバイザーを活用した、自己の在り方・生き方に関する講演等を実施する。
- ・県内公立高等学校の進路指導主事を対象として、キャリア教育先進県・先進高校の職員及び都内大学等のキャリアセンターの職員を講師とした進路指導主事等研修会を実施する。

1 時代を切り拓く力の育成〈実践的な職業教育の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
Gワークチャレンジ・高校生インターンシップ推進	705	高校教育課

○目的・趣旨

全ての県立高等学校等を対象としたインターンシップの取組について、組織的、計画的かつ積極的に推進し、生徒の望ましい職業観・勤労観及び主体的に進路を選択する能力を育成するとともに、県内の企業についての一層の理解を促す。

○内 容

- ・インターンシップを推進するための委員会を開催し、インターンシップの取組の方向性について、企業団体等と協議する。
- ・県立高等学校の生徒を対象に、県内企業等でのインターンシップを実施する。
短期インターンシップ（1～5日程度）
長期インターンシップ（6日以上）
- ・インターンシップを行う生徒を対象に、マナーや心構え、着眼点などを学ぶインターンシップ・キックオフ講座を実施する。
- ・インターンシップの体験発表や企業関係者との情報交換を行う、Gワークチャレンジ推進フォーラムを開催する。

次代を担う職業人材育成	8,502	高校教育課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

専門高校と地域産業界や研究機関等が連携して、農業・工業・商業・福祉の各分野において、地域産業の担い手を育成する。

○内 容

- ・農業・工業・商業・福祉の各分野において、人材育成委員会を設置し、連携した取組の内容を検証・評価する。
- ・企業や農業の技術者を講師として、技術指導や現場実習、現場見学、職員研修等を実施する。
- ・工業高校において、熟練技能者による技術指導を実施する。
- ・専門学科において、地元企業や研究機関等から職業教育に係る人材を招へいし実践的な指導を行う。
- ・介護職員初任者研修を実施する学校及び介護福祉士国家試験受験可能校において、医師、看護師、社会福祉士等を社会人講師として招へいするとともに、福祉施設に実習を委託する。

次代を担う職業人材育成のための教育設備充実	270,000	管理課
-----------------------	---------	-----

○目的・趣旨

専門高校において、老朽化した実習用設備の更新・修繕、将来を見据えた人材づくりに必要な設備整備を実施する。

○内 容

実習の核となる基幹設備等を購入（新規・更新）又は修繕する。

1 時代を切り拓く力の育成〈実践的な職業教育の推進〉

〈特別の支援を必要とする生徒への就労支援の充実〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
社会人講師活用	1,105	高校教育課

○目的・趣旨

総合学科・単位制高校などの特色ある教育の推進を図るため、学校に地元企業・研究機関等から人材を講師として招へいし、生徒に優れた技術や知識などを学ぶ機会を与えるとともに、望ましい勤労観、職業観の育成に役立てる。

また、特色ある教育課程を編成している県立高等学校において、時代の進展に対応した多様な教育の推進を支援する。

○内容

- ・総合学科等講師派遣：普通科、総合学科等に企業等の人材を招へいする。
- ・特別講師派遣：スポーツ科、芸術科に、高度な専門知識・技術を持つ人材を招へいする。

特別支援学校職業自立推進	15,887	特別支援教育課
--------------	--------	---------

○目的・趣旨

特別支援学校が関係機関と連携・協力し、職業教育の充実、就業体験先や新たな職域の開拓、企業に対する理解促進等を図り、高等部生徒の就労を支援する。

○内容

- ・就労支援員5名を県立知的特別支援学校9校に配置し、就業体験先や新たな職域の開拓等を積極的に行う。
- ・県立特別支援学校で、①1年生の生徒・保護者を対象とした進路ガイダンス(職業自立に向けた情報提供支援)、②企業採用担当者学校見学会(作業学習の見学による採用担当者に対する障害理解と、障害者雇用実績のある企業を招いた情報交換会による障害者雇用に関する情報共有)、③卒業生定着支援(卒業生の就職先を訪問して行う定着支援、その際に得た知見を在籍生徒の指導・支援に生かす)を企画・実施し、高等部3年間及び卒業後までの一貫した支援に取り組む。

特別支援学校作業学習充実	20,970	特別支援教育課
--------------	--------	---------

○目的・趣旨

特別支援学校における就業体験先や就職可能な職域の更なる開拓と、経営者団体や企業との連携を通じた特別支援学校への理解促進を図る。

○内容

- ・地域に根ざした作業種を導入した各学校(2018年度新設高等部4校における(鹿革(沼田特別支援学校)、介護・サービス(吾妻特別支援学校)、農業(藤岡特別支援学校)、絹織物(富岡特別支援学校)など)の作業学習の充実を図るとともに、農業分野を作業学習に取り入れている学校の作業環境整備を行う。職業教育の活性化を図り、就労支援に係る教育・福祉の連携を強化して就職先の更なる開拓につなげる。
- ・地元の方を外部講師として招くなど、地域の資源や産業と連携し、地域に根ざした特別支援学校整備を進める。

1 時代を切り拓く力の育成

〈文化芸術や尾瀬等の郷土資源を活用した学びの推進〉
 〈古代東国文化や世界遺産をはじめとした郷土の文化遺産を活用した学びの推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
群馬県高等学校総合文化祭 (高校いきいき文化活動推進)	1,105	高校教育課

○目的・趣旨

公立高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒による総合的な発表・交流の機会を設け、高校教育における芸術文化活動の一層の推進を図る。

○内容

- ・総合開会式：2019年11月2日（土）
- ・会場：群馬音楽センター、他
- ・内容：開会行事、発表、展示、部門別研究協議など

ぐんまの寺社魅力発掘・発信	31,378	文化財保護課
---------------	--------	--------

○目的・趣旨

装飾寺社建築の宝庫である群馬県内の近世寺社の総合調査を行い、その魅力を郷土学習や情報発信に活かして、県民の誇り醸成と観光県ぐんまの推進につなげる。

○内容

- ・近世寺社総合調査
- ・調査委員会
- ・寺社写真撮影
- ・ぐんま寺社周遊パンフレット作成
- ・寺社アプリ作成
- ・寺社シンポジウム

文化財保存事業費補助一般枠	33,823	文化財保護課
---------------	--------	--------

○目的・趣旨

国・県指定文化財等の保存活用を図る。

○内容

- ・指定文化財の保存修理、防災事業及び埋蔵文化財発掘調査事業に対して補助を行う。
- ・県指定文化財12件、発掘調査・保存活用整備18件、防災設備保守点検7件
- ・補助金交付先：事業実施市町村等

文化財保存事業費補助特別枠	62,831	文化財保護課
---------------	--------	--------

○目的・趣旨

群馬の歴史や文化の特質を表し、全国に誇り得る指定文化財等の歴史的価値に磨きをかけ、群馬の魅力として広く発信する。

○内容

- ・国指定文化財等の保存整備事業や活用推進事業に対して補助を行う。
- ・国指定文化財17件
- ・補助金交付先：事業実施市町村等

1 時代を切り拓く力の育成

〈古代東国文化や世界遺産をはじめとした郷土の文化遺産を活用した学びの推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
埋蔵文化財調査センター運営	40,502	文化財保護課

○目的・趣旨

県の埋蔵文化財調査研究の中心である埋蔵文化財調査センターの適正な維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の活用を図るための普及・研修事業を行う。

○内容

- ・埋蔵文化財調査センターの管理運営
- 最新情報展 教養講座 夏休み親子宿題教室 埋蔵文化財専門講座
- ・管理委託先：(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

上野国分寺跡整備	13,649	文化財保護課
----------	--------	--------

○目的・趣旨

優れた文化財である史跡上野国分寺跡の発掘調査や復元整備を進め、史跡の価値を磨き上げ、学習の場、憩いの場、更には観光資源として活用していく。

○内容

- ・整備基本計画検討資料作成
- ・整備検討委員会の開催
- ・発掘調査
- 今後の史跡の追加指定や南大門整備を想定した確認調査

古墳・金井東裏遺跡情報発信	890	文化財保護課
---------------	-----	--------

○目的・趣旨

古墳総合調査や金井東裏遺跡出土甲着裝人骨等の調査成果を活用し、広く情報発信を行うことにより、群馬県の代表的な文化財である古墳の価値を再認識してもらい、本県のイメージアップや観光振興につなげる。

○内容

- ・古墳学習プログラムの作成
- ・古墳アプリの保守管理・運用

「歴史の道」活用促進	3,132	文化財保護課
------------	-------	--------

○目的・趣旨

五街道の一つである中山道をはじめ、本県には古くから多くの基幹道路が通過し、交通の要衝として栄えてきた。こうした歴史の道を紹介する15冊のパンフレットを作成したところであるが、内容を刷新して刊行し、その価値を広く県民に周知し、多くの人に訪れてもらえるようにする。

○内容

- ・「群馬県歴史の道シリーズ」パンフレット7冊を刊行。

1 時代を切り拓く力の育成

〈古代東国文化や世界遺産をはじめとした郷土の文化遺産を活用した学びの推進〉
〈国際理解教育〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
文化財保護審議会運営	2,154	文化財保護課

○目的・趣旨

文化財保護審議会を円滑に運営し、文化財の保存活用に関する重要事項についての調査・審議を計画的・効率的に行う。

○内容

- ・文化財保護審議会の開催（年2回）
教育委員会の諮問に応じて、県指定文化財の指定・解除等について審議し、答申する。
- ・専門部会の開催
各専門分野ごとに部会を設置し、個別の文化財について調査・検討する。
- ・文化財保存活用大綱策定委員会の開催（年3回）
群馬県域における文化財の保存及び活用に関する総合的な施策である文化財保存活用大綱を策定する。

特別天然記念物カモシカ食害対策調査	2,305	文化財保護課
-------------------	-------	--------

○目的・趣旨

カモシカ保護地域内のカモシカ保護のため、個体群の現況把握や食害等の調査を行う。

○内容

- ・通常調査の実施（沼田市、中之条町、片品村、みなかみ町、上野村）
- ・食害対策調査説明会の実施（嬭恋村）

高校生国際交流促進	3,672	高校教育課
-----------	-------	-------

○目的・趣旨

県内の公立高等学校等に在籍する生徒に対し、留学にチャレンジしようとする志を支援するために、留学に係る経費を補助し、国際感覚を持った、群馬県の国際化に貢献する人材の育成を図る。

○内容

- ・留学支援金
短期留学（原則2週間以上1年未満）の者に対して1人6万円を給付する。
- ・ぐんま留学促進フェア（年1回開催）
県内の高校生等を対象に、国際理解をテーマにした講演会、留学あっせん団体からの説明、留学を経験した生徒からの報告、個別相談会等を実施し、留学の機運を高める。

1 時代を切り拓く力の育成〈豊かな語学力の育成〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
英語教育アドバイザー教員配置	25,750	管理課 学校人事課

○目的・趣旨

新学習指導要領における「小学校英語」の全面実施に向けて、全国に先駆けて県単措置による英語教育アドバイザー教員（English education Advisory Teacher、以下「EAT」という。）を配置することで、授業や指導計画等のモデルの普及・啓発や教員の指導力の向上を図る。

○内容

県内にEATを5名配置して全県をカバーするとともに、学校の実態に応じた計画的・重点的な訪問指導を行う。

各EATは、教育事務所指導主事と連携し、訪問した学校において英語の授業を担当する教員を中心にサポートしたり、小学校英語の授業モデルを公開したりすることにより、取組の学校差及び地域差を解消するとともに、小学校英語教育の充実を図る。

外国語指導助手支援員	4,687	義務教育課
------------	-------	-------

○目的・趣旨

外国語指導助手として豊かな経験を有する者を義務教育課に配置して、市町村配置ALTへの英語の指導に関する相談業務等にあたることで、本県英語教育の改善・充実に資する。

○内容

- ・県内の小中学校において英語の授業参観を行い、市町村配置ALTに対し、効果的なチームティーチングの在り方について指導助言等を行う。
- ・ALTの資質や指導力を高めるため、外国語指導助手の指導力等向上推進協議会を実施する。

外国語指導助手招致	110,411	高校教育課
-----------	---------	-------

○目的・趣旨

高等学校における外国語学習の指導を行い、生徒の英語コミュニケーション能力の伸長を図る。

○内容

24名の外国青年を県立高等学校及び県立中等教育学校に配置し、チームティーチングにより生徒の英語コミュニケーション能力の向上を目指した指導を行う。

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
選挙出前授業の実施	398	県選挙管理委員会

○目的・趣旨

将来を担う若い世代である中学生、高校生及び大学生等を対象に選挙出前授業を実施することにより、選挙の意義・重要性について理解を深めるとともに、社会参加を促進し、政治的判断能力の育成を図る。

○内容

- ・希望する中学校、高等学校、特別支援学校及び大学等に、選挙管理委員会の職員や大学生参加型選挙啓発チームの大学生を派遣し、選挙出前授業（模擬選挙、選挙講座、選挙クイズ等）を実施する。
- ・模擬選挙では、選挙管理委員会から選挙公報や投票所入場券の事前配付と、政見放送の放映を行うとともに、生徒は実際の選挙の際に使用する投票箱、投票用紙記載台、本物と同じ材質の投票用紙を使用した投票や、開票作業などを体験する。

中学生向け選挙啓発教材の作成・配付	484	県選挙管理委員会
-------------------	-----	----------

○目的・趣旨

中学生（3年生）を対象とした選挙啓発教材を作成・配付し、授業で活用することにより、選挙の重要性、若年層の低投票率の問題、選挙の流れについて、生徒の理解を深め、社会参加への動機付けを図る。

○内容

選挙の大切さ、県内の投票率の状況、若年層の低投票率の問題、選挙（投・開票）の流れ等について、図表やイラスト等の活用によって分かりやすく説明した冊子を作成し、県内の中学3年生を対象として配付する。

明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施	1,523	県選挙管理委員会
---------------------	-------	----------

○目的・趣旨

将来の有権者である県内の児童生徒から選挙をテーマとしたポスターを募集し、明るい選挙の大切さについて理解を深める。

○内容

小学校の児童及び中学校・高等学校の生徒を対象として、明るい選挙を呼びかけるポスターを募集し、優秀作品を表彰する。

語学指導等を行う外国青年招致	7,267	外国人活躍推進課
----------------	-------	----------

○目的・趣旨

外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の促進を図ることを通じ、諸外国との相互理解の増進と、地域の国際化の推進に資する。

○内容

日本人教師の英語授業の補助、教材作成の補助、小中学校における国際理解教育、部活動等への協力、地域における国際交流活動への協力を行うためのALT（外国語指導助手）、CIR（国際交流員）を招致する。

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
いきいき・地域・つながりICT支援	227	情報政策課

○目的・趣旨

人口減少率が高い地域において、ICTを活用することで、地域振興につながるよう市町村と共同で事業を実施する。

○内容

小中学生を対象としたプログラミング講座等を実施し、地域の魅力をPRする作品等を作成する。完成した作品をホームページ等での発信、他校との交流等、様々な場面で活用することで、地域の活性化を図る。

世界遺産継承推進	451,487	世界遺産課
----------	---------	-------

○目的・趣旨

世界遺産を将来の世代に確実に引き継ぐとともに、世界遺産をはじめとする絹遺産の価値を多くの人々に伝えることで、地域全体で遺産と絹文化を守り、郷土に誇りをもてる学びを推進する。

○内容

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする県内の絹遺産の保存活用を図る。
- ・絹文化を次世代に継承するため、児童生徒が蚕を飼い、できた繭から校旗を作る「校旗を作ろうプロジェクト」や、世界遺産をはじめとした絹遺産の価値を分かりやすく伝える「学校キャラバン」を実施する。(絹文化継承プロジェクト)
- ・子ども向けの学習用教材を発行し、世界遺産学習を支援する。
- ・世界遺産センターを整備し、世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産の価値について総合的な情報を発信する。

女子高校生理工系チャレンジ支援セミナー	197	県民生活課
---------------------	-----	-------

○目的・趣旨

女子高校生が進路選択する際に、理工系へ積極的にチャレンジできるよう、具体的な将来像を持つための支援をする。

○内容

- ・県内企業を訪問し、職場見学や女性技術者との交流会を行う。
- ・理工系学部の教授による出前講義・実験や保護者を対象とした講演会を行う。

消費者啓発推進	120	消費生活課
---------	-----	-------

○目的・趣旨

社会経験が少なく契約に不慣れな若年層の消費者被害防止を図るとともに、消費者教育を推進するため、若者に対して出前講座による消費者教育や啓発活動を実施したり、教員に対して消費者教育研修講座を実施する。

○内容

消費生活課職員及び消費生活相談員が学校や会社等の会場に出向き、自主的かつ合理的に行動できる自立した消費者になるための消費者教育や、消費者被害の未然防止のための情報提供と基礎知識についての講座を行う。また、学校における消費者教育の授業実践を促すため、専門家を招いて講座を行う。

- ・高校や大学などの学生を対象とした出前講座の実施
- ・新入社員などの社会人を対象とした出前講座の実施
- ・家庭科教員等研修講座の実施

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
金融広報推進	250	消費生活課

○目的・趣旨

児童生徒が金融・経済に関する正しい知識を習得し、金銭や物に対する健全な価値観を身につけられるよう、金融・金銭教育の研究及び実践を支援する。

○内容

「金銭教育研究校」、「金融教育研究校」を委嘱し、資料の提供、講師の派遣、研究及び実践計画立案に関する支援等を行う。

伝統文化継承事業	9,124	文化振興課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

地域の伝統文化を復活させ、人と人との絆を深め、安心安全な地域社会を築くため、伝統文化を継承する事業を展開し、全ての県民が誇りをもてる「ふるさと群馬」を実現する。

○内容

- ・やる気のある地域に対して、伝統文化の保存、継承、発展に必要な支援を行う。
- ・(公財)群馬県教育文化事業団にコーディネート機能を持たせ、伝統文化の継承に取り組む団体のバックアップを図る。

文化づくり支援事業	8,309	文化振興課
-----------	-------	-------

○目的・趣旨

「群馬の文化」形成につながる地域での多様で創造性豊かな文化活動に対して財政的支援を行う。また、支援策の評価等を行う。

○内容

- ・NPO法人、文化活動団体等への補助
- ・補助メニュー：文化力向上事業、次世代育成事業、文化資産発掘・活用事業
- ・第三者機関による補助事業の事前・事後評価

上毛かるた活用事業	23,698	文化振興課
-----------	--------	-------

○目的・趣旨

「上毛かるた」及び関連書籍を活用し、札の内容の理解を深め、郷土愛、群馬の歴史や文化に対する誇りを育むとともに、県内外への本県の文化的魅力を発信する。

○内容

- ・「上毛かるた」の発行
- ・副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』の発行
- ・ガイドマップ『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』の発行
- ・英語版「上毛かるた」の発行
- ・「上毛かるた」競技県大会の開催

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
東国文化周知	20,241	文化振興課

○目的・趣旨

ユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑を含む、本県の歴史文化遺産の周知を通じ、次代を担う子どもたちをはじめとする県民の郷土への誇りと愛着を育むとともに、「東国文化＝群馬」といったイメージを全国に発信しながら、観光振興・イメージアップの推進を図る。

○内 容

- ・古墳・遺跡価値再発見プロジェクト（黒井峯遺跡VRアプリ体験イベント・東国文化体験キャンプ・東国文化スタンプラリー）
- ・「群馬の埴輪ガイドブック」の作成・販売
- ・群馬古墳フェスタ2019の開催
- ・東国文化副読本の作成（県内全中学1年生への配布）
- ・「世界の記憶」上野三碑周知（上野三碑講演会・ラッピング電車の運行等）

はじめての文化体験事業	1,000	文化振興課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

子どもたちが、普段触れる機会の少ない優れた文化芸術に触れることにより、芸術文化や地域文化を愛する心を育むとともに、県内アマチュア文化団体の社会貢献の促進や活動の機会の拡大を図る。

○内 容

優れた文化芸術活動を行っている県内のアマチュア文化団体を有償の文化ボランティアとして保育園・学校等に派遣し、子ども向けの公演、講話、実技披露、ワークショップ等を行う。

群馬交響楽団関係事業費助成	218,051	文化振興課
---------------	---------	-------

○目的・趣旨

県民のオーケストラとして親しまれる群馬交響楽団の運営を支援するとともに、各種演奏会の開催により県民が音楽に親しむ機会を提供する。

○内 容

- ・群馬交響楽団への補助
楽団運営費等補助（群響の運営費等補助）
東京定期演奏会（東京で演奏会を実施）
県外公演支援（県外で演奏会を実施）
サマーコンサート（草津夏期国際アカデミー&フェスティバルプレコンサート）
- ・楽器セミナー（楽団員が小中学生を対象に楽器指導）
- ・群響アワー（FMぐんまでの放送 年2回）

幼児移動音楽教室	4,250	文化振興課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

幼児の段階から音楽に親しみ、音楽の楽しさを体験することで芸術を愛する心や心の豊かさ、想像力などを育てる。

○内 容

県内の希望する幼稚園、保育園に群響楽団員を派遣する。

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
移動音楽教室	39,245	文化振興課

○目的・趣旨

小中学校の児童生徒に群馬交響楽団の演奏を直接に鑑賞する機会を与え、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に役立てる。

○内 容

県内の全小中学校の児童生徒を対象として、3年に1回鑑賞できるよう実施する。

高校音楽教室	24,482	文化振興課
--------	--------	-------

○目的・趣旨

優れた音楽鑑賞の機会を通して、高校生の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に役立てる。

○内 容

県内すべての公私立高校生が3年に1回鑑賞できるよう、毎年3分の1の高等学校を対象に、群馬交響楽団の演奏会を開催する。

小中学校伝統芸能教室 (県民芸術祭委託)	1,648	文化振興課
-------------------------	-------	-------

○目的・趣旨

小中学生に、人形芝居や日本舞踊などの伝統芸能を鑑賞・体験する機会を提供し、伝統文化への関心を深め、豊かな情操を育む。

○内 容

- ・人形芝居の体験・鑑賞教室 県内5ヵ所(予定)
- ・日本舞踊 県内1ヵ所(予定)

県民音楽のひろば(県民芸術祭委託)	23,741	文化振興課
-------------------	--------	-------

○目的・趣旨

県民に群馬交響楽団の演奏を鑑賞する機会を提供し、音楽に対する関心を高め、本県音楽文化の振興発展に寄与する。

○内 容

市町村等との共催で群響の演奏会を開催する。県内9会場を予定

群響企画コンサート(県民芸術祭委託)	5,625	文化振興課
--------------------	-------	-------

○目的・趣旨

群馬交響楽団による演奏会を実施し、芸術文化の振興と地域の特色ある文化づくりを推進する。

○内 容

- ・森とオーケストラ 2019年4月 場所：群馬の森(野外特設ステージ)

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
メディア芸術祭(県民芸術祭委託)	2,647	文化振興課

○目的・趣旨

マンガやアニメーション、映像制作の楽しさを広め、作品発表機会を提供することにより、本県のメディア芸術の振興を図るとともに、その魅力を県内外に向けて発信する。

○内容

メディア芸術祭としてマンガ・アニメの作品募集、表彰、作品展、ワークショップ等各種イベントを実施する。

- ・GUNMAマンガ・アニメフェスタ 2020年2月(予定) 場所:未定
- ・ワークショップ 2019年8月(予定) 場所:未定

伝統歌舞伎の祭典	1,265	文化振興課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

地域に残る伝統歌舞伎公演を開催することにより、発表の機会を提供し、伝統文化の保存・継承を図る。

○内容

伝統歌舞伎や子ども歌舞伎の公演をする。

- ・2020年1月(予定) 場所:ベイシア文化ホール

子どもワークショップ	947	文化振興課
------------	-----	-------

○目的・趣旨

子どもを対象に、優れた文化・芸術を身近で鑑賞・体験する機会を提供し、文化・芸術への関心を高め、鑑賞者や担い手の拡大を図る。

○内容

文化や芸術の楽しさを気軽に体験できる親子向けワークショップを開催する。プログラムは美術、書道、バトントワーリング、ウクレレ、オーケストラ楽器の5部門を予定している。

- ・2019年7月(予定) 場所:県生涯学習センター

ライフプランニング・キャリア形成推進事業	-	こども政策課
----------------------	---	--------

○目的・趣旨

より多くの若者が、職業・仕事や結婚から妊娠・出産・子育てまでの家族形成を含む将来のライフプランニングやキャリアを描くことができるよう、生徒・学生や20代の若年社会人に対するライフデザインの構築支援を行う。

○内容

- ・「学生・新社会人向けライフデザインセミナー」(県職員による「出前なんでも講座」)の実施
- ・「若者に対するライフデザイン支援 県内の取組事例集」の普及及び利用促進

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
ライフデザイン支援事業費補助金	2,500	こども政策課

○目的・趣旨

若者が自身の将来設計やこれからの人生を考える機会を創出するため、民間の非営利団体等が行う地域の実情に即した創意工夫あふれるライフデザイン支援の取組に対し補助を行う。

○内 容

- ・対象事業：多様なロールモデルの提示などライフプランニング支援
- ・補助限度額：1団体等につき25万円以内（補助対象経費の10分の10以内）

子どもの貧困対策推進	27,697	子育て・青少年課
------------	--------	----------

○目的・趣旨

「群馬県子どもの貧困対策推進計画」を推進するとともに、家庭の機能を補完し、子どもが大人や仲間と関わりながら自分らしく過ごせる「子どもの居場所」の充実や、シングルマザーを応援するシェアハウス、生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援に取り組むことで、子ども自身がたくましく生きるために必要な力（学力、生活力）を身につけることを支援する。

○内 容

- ・子どもの居場所におけるニーズと社会資源の広域的なマッチングの仕組みを構築するため、マッチングコーディネーターを配置する。
- ・居場所づくりの応援のすそ野を広げるため、啓発セミナーや、ボランティアスキルアップセミナーなどの人材養成講座を開催する。
- ・県内の教育・福祉分野に関係する自治体、団体の連携体制の整備を図るとともに、市町村の地域ネットワークづくりを支援する。
- ・民間団体に対して、子ども食堂や無料学習塾の新規立ち上げに要する費用を補助する。
- ・シングルマザーを支援するシェアハウスを運営するとともに、普及のためのセミナー等を開催する。
- ・生活困窮世帯等の主に中学生を対象として、居場所の提供や学習支援を行う。

保育士修学資金貸付	10,541	子育て・青少年課
-----------	--------	----------

○目的・趣旨

指定保育養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対し修学資金を貸付け、これらの者の修学を容易にすることにより、質の高い保育士を養成確保する。

○内 容

- ・実施主体 群馬県社会福祉協議会
- ・貸付金額 修学資金 50,000円（月額）
入学準備金 200,000円（初回貸付時）
就職準備金 200,000円（最終貸付時）
- ・貸付人数 50名
- ・卒業から1年以内に保育士登録し、県内の保育所等で保育士として5年以上従事した場合、修学資金の返還を免除する。

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
子ども・若者計画推進	8,479	子育て・青少年課

○目的・趣旨

子ども・若者育成支援に総合的に取り組むとともに、困難を抱える子ども・若者が就労や再学習への新たな一歩を踏み出すための支援を実施する。

○内 容

- ・第2期群馬県子ども・若者計画の推進及び点検・評価を行う。
- ・群馬県子ども・若者支援協議会を運営し、相談・支援機関の連携による支援方法について協議するとともに、青少年相談担当者を対象とする研修会を開催し、人材の育成を行う。
- ・高校中退者や中学校卒業時進路未決定者の就労や再学習に向けた伴走支援を実施する。

看護職員確保対策（進学ガイド作成）	212	医務課
-------------------	-----	-----

○目的・趣旨

慢性的な看護職員不足が見込まれていることから、看護職員を確保するために、看護についての普及啓発や県内の看護師等学校養成所の紹介を行う。

○内 容

看護についての普及啓発と、県内の看護師等学校養成所の紹介を行うための冊子を作成し、県内の中学校、高等学校等に配布する。

医学部医学科を目指す高校生の職場体験セミナー	51,366(一部)	医務課
------------------------	------------	-----

○目的・趣旨

将来医師を目指す高校生が医療現場を見学し、医師の仕事を体験すること等により、医療や医師の仕事への理解や興味を深め、医師を目指すより高い意欲を醸成することで、将来群馬県で臨床を担う医師の確保を図る。

○内 容

県内高等学校等の在校生や県内在住の高校生を対象に、県内の地域医療を担う病院において、医療現場で活躍中の医師や医療技術者との交流、病院施設の見学及び医療現場の実体験等を行う（群馬大学への委託事業の一部）。

児童・生徒向けパンフレット「介護のおしごと」の作成	1,998	介護高齢課
---------------------------	-------	-------

○目的・趣旨

介護に関する福祉教育資料を学校教育の中で活用し、介護の仕事の重要性に対する理解を深めてもらい、将来の介護を担う若者の進路選択を支援する。

○内 容

児童生徒を対象にした介護に関する福祉教育資料を作成し、配布する。（配布対象：進路を考え始める小学5年生、中学1年生、高校1年生など計約6万人）

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
介護人材参入促進事業	10,000	介護高齢課

○目的・趣旨

今後、更に必要とされる福祉・介護人材を確保するため、関係団体等が実施する事業を支援し、将来にわたって福祉・介護人材の安定的な参入促進を図る。

○内容

中高生やその保護者、進路指導担当教員、留学生等を対象にした進路相談や職場訪問、職場体験等に取り組む団体等に対し、補助を行う。

介護福祉士修学資金貸付	12,020	介護高齢課
-------------	--------	-------

○目的・趣旨

介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生に対し修学資金を貸し付け、これらの者の修学を容易にすることにより、将来の基幹職員としての介護福祉士を養成・確保する。

○内容

- ・実施主体 県が適当と認める団体（群馬県社会福祉協議会）
- ・貸付金額 学費 50,000円（月額）
国家試験受験対策費用 40,000円（年額）
入学・就職準備金 各200,000円（入学・卒業年度）
- ・貸付人数 100名
- ・卒業後5年間（過疎地の場合は3年間）、介護等の業務に従事することにより、修学資金の返還を免除する。

介護未経験者等講習支援	2,000	介護高齢課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

今後、更に必要とされる福祉・介護人材を確保するため、関係団体等が実施する事業を支援し、将来にわたって福祉・介護人材の安定的な参入促進を図る。

○内容

介護未経験者等を対象にした職場体験を含む研修を実施する団体等に対し、補助を行う。

木とのふれあい推進事業（児童生徒木工工作コンクール開催事業）	511	林業振興課
--------------------------------	-----	-------

○目的・趣旨

県内の小中学生に、木工工作を通じて、木材の特性や工作しながら創造することの楽しさを感じてもらい、木材を素材とする造形や加工技術の修得など教育振興に寄与することを目的とする。

○内容

県内の小・中・特別支援学校に参加を呼びかけ、各学校から優秀作品を応募してもらい、県庁県民ホールで展示をする。

また、応募された作品の審査を行い、特に優れた50点前後の作品を表彰する。

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
群馬県きのこ料理コンクール開催事業	400	林業振興課

○目的・趣旨

健康食きのこについての知識普及と県産きのこの消費拡大により、県民の健康増進に資するとともに、きのこ産業の活性化を図るため、群馬県きのこ料理コンクールを開催する。

○内 容

- ・きのこを用いた未発表のアイデア料理募集を行う。応募作品については、書類審査及び調理審査を行い、入賞作品を表彰する。
- ・応募の際には県内の中学校及び高等学校にも参加を呼びかける。
- ・最優秀賞作品については、東京で開催予定の全国きのこ料理コンクールに県代表として推薦予定。

環境人材育成	424	環境政策課
--------	-----	-------

○目的・趣旨

地域の環境保全に強い関心を持ち、環境活動の牽引役となる人材を「環境アドバイザー」として登録するとともに、環境活動に意欲のある県民を対象に地域の環境活動に自ら進んで取り組める人材を養成するため、「ぐんま環境学校（エコカレッジ）」を開講する。

○内 容

環境アドバイザーへの情報提供や研修会の開催、「群馬県環境アドバイザー連絡協議会」の運営支援等を行う。ぐんま環境学校（エコカレッジ）は、温暖化対策、3Rの推進、尾瀬、生物多様性、ボランティア（環境、森林）等について、講義やワークショップ、フィールドワーク等を実施。

尾瀬学校	83,390	自然環境課
------	--------	-------

○目的・趣旨

群馬の子どもたちが一度は尾瀬を訪れ、質の高い自然体験を通して自然を守る意識を醸成するとともに、郷土を愛する心を育む。

○内 容

- ・県内の小中学校が尾瀬でガイドを伴った少人数のグループによる環境学習を実施する場合、ガイド料とバス代を補助する。
- ※対象：県内小中学校（市町村教育委員会、学校法人等）

芳ヶ平湿地群環境学習	1,656	自然環境課
------------	-------	-------

○目的・趣旨

芳ヶ平湿地群において、尾瀬学校と同様の質の高い環境学習を受けられる機会を提供する。

○内 容

尾瀬学校と同様の制度内容により、ガイド料とバス代を補助する。

尾瀬環境学習推進	2,710	自然環境課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

優れた「環境教育の場」としての尾瀬を利用し、環境学習の推進を図る。

○内 容

- ・移動尾瀬自然教室の実施
- ・尾瀬に親しむ県民講座の実施
- ・山の鼻ビジターセンターでの尾瀬学校の受け入れ協力

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
尾瀬子どもサミット開催	1,716	自然環境課

○目的・趣旨

尾瀬をとりまく三県の小中学生が、尾瀬を通して環境問題に対する認識を深め、環境学習の先導的な取組を実施するとともに、三県児童・生徒の交流を図る。

○内容

- ・期 日：2019年7月30日～8月2日（3泊4日）予定
- ・場 所：尾瀬ヶ原周辺
- ・参加者：群馬・福島・新潟三県の小中学生60名
- ・内 容：動植物の観察・自然保護活動の学習、意見交換、交流会など

創業者創出ミーティング	528	商政課
-------------	-----	-----

○目的・趣旨

県内の創業者を増加させるためには、創業希望者のすそ野を広げることが重要であることから、大学生や高校生等を対象に創業機運の醸成を図る。

○内容

大学、高等学校等の授業の一環で、創業者との交流の場を提供することにより、卒業後の選択肢として創業して働く可能性や事業経営の楽しさといった創業の魅力を発信する。

群馬県創意くふう作品展	396	工業振興課
-------------	-----	-------

○目的・趣旨

児童生徒が、ものづくりを通じて創意くふうすることの楽しさを知り、発明をより身近なものと感じてもらい機会を提供する。

○内容

- ・児童生徒を主な対象に、県内各地区から創意くふう作品を募集、展示会を開催する。
- ・審査により、特に優秀と認められた作品を表彰する。

若者就職支援	138,642	労働政策課
--------	---------	-------

○目的・趣旨

若年求職者の就職やフリーター等不安定な就労形態の若者の正社員化を図るため、県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）を設置し、若者の就職支援を行う。

○内容

県内3か所（高崎市・桐生市・沼田市）に設置した県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）において、概ね40歳代前半までの若年者を対象に、カウンセリングから職業紹介、定着に至るまでワンストップで一貫した就職支援を行う。併せて、県内企業でのインターンシップや企業訪問バスツアー、U・Iターン就職相談等により群馬県へのU・Iターン就職支援を行う。

1 時代を切り拓く力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
ニート自立支援	7,938	労働政策課

○目的・趣旨

働くことへの意識を有しながらも就業が困難となっている若者を対象に、就業への不安解消、就業意欲の醸成、職場環境への適応能力の向上等の支援を行い、就業の促進を図る。

○内容

ぐんま若者サポートステーション(前橋市)及び東毛常設サテライト(太田市)を拠点に、労働、保健福祉、教育等の関係機関がネットワークを通じて連携し、概ね15歳から39歳までのニート等の若者の職業的自立を支援する。

障害者雇用促進強化対策	47,736	労働政策課
-------------	--------	-------

○目的・趣旨

一人でも多くの障害者の就労希望を実現するため、庁内関係部局及び労働局等の関係機関との連携のもとに、特別支援学校高等部の生徒や就労支援機関の利用者等への就労支援と企業の障害者雇用に対する理解を深めるための情報発信を行い、障害者雇用の一層の促進を図る。

○内容

障害者就労サポーターを配置し、企業への啓発活動等を実施する。
また、関係機関の連携により、特別支援学校高等部の生徒に対する在学中からの就労支援等を実施する。

建設産業担い手育成事業	—	建設企画課
-------------	---	-------

○目的・趣旨

県内建設業界の技術者・技能者不足は、災害時・緊急時における地域防災力の低下等県民生活に深刻な影響を与えることが懸念されていることから、産学官連携会議を設置し、関係者間の情報共有と効果的な対策を検討・実施する。

○内容

- ・建設系高校及び建設系学科のある大学・高専でインターンシッププログラムを実施する。また、生徒・保護者に対して建設産業の魅力を伝える説明会を実施する。
- ・資格取得を推進するため、建設系高校で2級土木施工管理技術検定試験対策授業を実施する。
- ・中学生の建設業に対する理解を深めるため、中学校職場体験学習の受け入れ可能企業一覧を作成し、中学校へ配布する。
- ・建設業における女性の活躍推進のため、現場で活躍している女性技術者と建設系高校の女子高生との意見交換会を開催する。

2 確かな学力の育成

(身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成、学習習慣・生活習慣の確立、理数教育の推進、プログラミング教育の充実、情報活用能力の育成)

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
ぐんま少人数クラスプロジェクト	1,277,200	管理課 学校人事課

○目的・趣旨

少人数学級編制や少人数指導を中心に、学年の発達段階に応じた指導体制を充実させることにより、児童生徒の学習習慣や基本的な生活習慣の確立を図り、学力の定着・向上を目指す。

○内容

(1) さくらプラン (小学校少人数学習支援)

[第1・2学年]

- 全ての小学校において、30人以下学級編制ができるように教員を配置し、義務教育のスタート期に当たる低学年の学習習慣や基本的な生活習慣を確立し、学力の定着・向上や社会性の育成を図る。

第1学年：73校 73人 (うち県単措置分23校23人)

第2学年：117校 117人 (うち県単措置分29校29人)

[第3・4学年]

- 全ての小学校において、35人以下学級編制ができるように教員を配置し、学力差のつきやすい中学年におけるきめ細かな指導を充実し、学力の定着・向上や社会性の育成を図るとともに、高学年への円滑な移行を実現する。

第3学年：49校 49人 (県単措置)

第4学年：56校 56人 (県単措置)

(2) わかばプラン (中学校第一学年生活充実支援)

[第1学年]

- 全ての中学校において、35人以下学級編制ができるように教員を配置し、全教科を少人数で指導するとともに、いじめや不登校、問題行動への早期対応など、中学校生活に適應するための支援体制を強化し、学力の定着・向上を図る。

第1学年：62校 91人 (県単措置)

(3) 少人数指導や教科担当制など効果的な指導体制の充実

- 学習内容の習熟の程度に応じた学習や、教員の専門性を生かした教科担当制 (小学校) の推進など、きめ細かな指導の方法や体制を工夫改善して学力の向上を図る。

複式学級解消非常勤講師	58,609	管理課 学校人事課
-------------	--------	--------------

○目的・趣旨

複式学級を有する小規模な小学校に非常勤講師を配置し、国語、社会、算数、理科、生活において、単一学年によるきめ細かな指導を行うことにより、児童の学力の定着・向上を図る。

○内容

複式学級を有する小学校に非常勤講師を配置する。

小規模中学校教科指導充実非常勤講師	85,032	管理課 学校人事課
-------------------	--------	--------------

○目的・趣旨

小規模な中学校に教員免許状を有する非常勤講師を配置し、専門性を生かした質の高い授業を行うことにより、生徒の学力の定着・向上を図る。

○内容

7学級以下の中学校に必要な教員免許状を有する非常勤講師を配置する。

2 確かな学力の育成

〈身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成、学習習慣・生活習慣の確立、理数教育の推進、プログラミング教育の充実、情報活用能力の育成〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
ぐんま「確かな学力」育成プロジェクト	5,408	義務教育課

○目的・趣旨

「第3期群馬県教育振興基本計画」に掲げた「身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力」の育成のために、本県の課題や新学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上対策を推進する。

○内容

- ・県内の教育関係者を委員として、本県の学力向上に向けた施策等について協議する「確かな学力」育成プロジェクト会議を実施する。
- ・「全国学力・学習状況調査」結果を基に本県の課題を明らかにし、指導の改善充実に向けた資料を作成、提供する。
- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた、新たな指導資料「はばたく群馬の指導プランⅡ」を作成して全教職員へ配布するとともに、新プランに基づく授業を公開し、授業改善を推進する。
- ・新学習指導要領における、移行措置、各教科・領域の要点、評価等の在り方等について説明会を実施する。
- ・学校経営の重点及び各教科等の指導の重点をまとめた、「学校教育の指針」を作成、配布する。
- ・中学校の英語教育の一層の充実に向けて、「英語教育改善プラン」を踏まえ、県内8指定校において「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」を行う。
- ・小学校におけるプログラミング教育の推進及び教員の指導力向上に向けて、指導資料等の作成と提供、授業公開を行う。

高校生ステップアップサポート事業	125	高校教育課
------------------	-----	-------

○目的・趣旨

教員の専門性を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を推進することで、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図る。

○内容

- ・組織的に研究授業や授業研究等の校内研修等を行い、教員の専門性を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を推進することで、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図る。
- ・校内研修コーディネーター研修会を開催するとともに、各教科で優れた取組を行う教員をステップアップサポート推進研究員に指名し、全ての県立高校での取組を一層推進する。

2 確かな学力の育成

〈身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成、学習習慣・生活習慣の確立、理数教育の推進、プログラミング教育の充実、情報活用能力の育成〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
高校生Gアッププロジェクト	311	高校教育課

○目的・趣旨

新しい大学入学者選抜にも適切に対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成を目指し、指導方法や評価方法の研究を進めるとともに、その普及を図る。

○内容

- ・拠点校を中心に「思考力・判断力・表現力」等の育成を目指した指導方法や評価方法の研究を行う。
- ・拠点校における研究においては、有識者の助言を得るとともに、他の都道府県の視察等を実施して、先進的な事例についての情報収集を行う。
- ・公開授業等を実施し、先進的な授業や視察から得た情報を全県的に共有する。

県立学校ICT環境整備	97,122	管理課 高校教育課 特別支援教育課
-------------	--------	-------------------------

○目的・趣旨

児童生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や児童生徒の主体的・協働的な学びを実現するため、新学習指導要領に基づき、ICT機器を高等学校等及び特別支援学校に順次導入する。

○内容

- ・高等学校等 大型提示装置（プロジェクタ）
- ・特別支援学校 大型提示装置（テレビモニタ）、実物投影装置

科学の甲子園群馬県大会	100	高校教育課
科学の甲子園ジュニア群馬県大会	785	義務教育課

○目的・趣旨

県内の科学好きな中・高校生等が、競い合うことを通して科学の楽しさを知り、科学的な知識・技能を積極的に活用する能力や態度を養う大会を開催する（科学の甲子園及び科学の甲子園ジュニア全国大会の群馬県予選として実施）。

○内容

群馬大学等との連携のもと、理科（物理、化学、生物、地学）、数学、情報の各分野からなる筆記競技及び実験・実技競技を実施する。

高校生数学コンテスト	101	高校教育課
------------	-----	-------

○目的・趣旨

高校生に数学的な見方や考え方の素晴らしさを認識させるとともに、数学的な知識・技能を積極的に活用する態度を養う機会として実施する。

○内容

高校1年生の1学期までの数学の学力で対応できる思考力や想像力、発想力を問う問題を6題出題し、4題を選択して、3時間で解答する。

2 確かな学力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
私立学校教育振興費補助	6,031,785	学事法制課

○目的・趣旨

私立学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、専修学校等）の教育条件の維持向上、保護者負担の軽減及び学校経営の健全化を図るため、経常的経費の一部を補助する。

○内容

- ・補助対象：県内の私立学校を設置する学校法人等
- ・補助対象経費：私立学校の教職員人件費等の経常的経費
- ・補助率：定額（生徒数及び教職員数等により補助金を積算して交付）
- ・予算額(内訳)：

幼稚園	412,847千円	小学校	271,140千円	中学校	423,629千円
高等学校	4,602,637千円	専修学校	254,500千円	等	

子どものための教育・保育給付費負担	9,264,440	子育て・青少年課
-------------------	-----------	----------

○目的・趣旨

保育所、認定こども園、子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園の運営に対する経費を負担及び補助する。

○内容

- ・補助対象：市町村
- ・補助対象経費：施設型給付費（施設運営に要する経費）
- ・負担率：全国統一費用分：国 1 / 2 県 1 / 4
- ・補助率：地方単独費用分：県 1 / 2

小・中学生のためのフォレストリースクール	1,695	緑化推進課
----------------------	-------	-------

○目的・趣旨

次代を担う子ども達に森林や緑に関わる様々な体験活動を提供し、森林や環境について深く学ぼうという意欲を引き出す。

○内容

小中学校に緑のインタープリター等を講師として派遣し、森林の持つ機能や働き、環境問題との関係等についての講義や林業体験等フィールドワークを行う。

3Rリーダー派遣	53	廃棄物・リサイクル課
----------	----	------------

○目的・趣旨

群馬県の一人1日あたりのごみ排出量は、全国ワースト5位（2016年度）。ごみの排出量を減らし循環型社会を目指すため、県民一人ひとりが家庭、学校、職場で3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動に取り組むことを促す。

○内容

3Rやごみ問題を考える学習会に、市民ボランティア（3Rリーダー）を講師として派遣する。講演時間は1～1.5時間程度。派遣費用は県が負担する。

3 豊かな人間性の育成

〈体験的な活動の充実〉〈道徳教育・人権教育の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
青少年自立・再学習支援	9,268	生涯学習課

○目的・趣旨

不登校等の悩みを抱える青少年に職場体験等の体験活動を通して生活を充実させ、社会的自立を支援する。

また、高校中退者等に対して、高等学校卒業程度の学力を身に付けさせるための学習相談及び学習支援を行う。

○内 容

- ・青少年とその保護者・学校からの相談対応を行う。
- ・体験活動受入団体・事業所等の情報収集及び連絡調整を行う。
- ・体験活動のコーディネートを行う。
- ・高校中退者等に対して、学びに応じた教科書や副教材の紹介、高卒認定試験の紹介、教育機関や修学のための経済的支援の紹介などの学習相談を行う。
- ・青少年会館等を活用し、学習の場を提供することで、学習者の自習を支援する。

青少年自然体験等	3,676	生涯学習課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

北毛・妙義・東毛青少年自然の家において、青少年を対象に様々な体験活動の機会を提供し、社会を生き抜く力として必要とされる、自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力等を育む。

○内 容

- ・登山やキャンプ、野外炊事等の「青少年自然体験推進」を実施する。
- ・利用団体の活動補助等、ボランティア活動の場の提供及びボランティア活動に取り組もうとする青少年の養成のため「青少年ボランティア養成・体験」を実施する。
- ・様々な要因により社会とうまく関われない青少年を対象に、体験活動を通して自立支援を行うとともに、保護者に対して、カウンセリングや保護者同士の情報交換の場を提供することにより、家庭支援を行う「青少年自立支援」を実施する。

道徳教育総合支援事業	2,706	義務教育課
------------	-------	-------

○目的・趣旨

道徳教育に関する学校や地域の特色を生かした多様な取組を通して、道徳科を要とした道徳教育の一層の充実を図る。

○内 容

- ・小中学校・特別支援学校道徳教育研究協議会を開催する。
- ・研究指定地域及び研究指定校を位置付け、実践的な研究を行う。
- ・道徳科の充実のための指導資料を作成し、各学校に配布する。

3 豊かな人間性の育成〈道徳教育・人権教育の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
人権教育研修・指導	208	義務教育課

○目的・趣旨

人権問題の理解・早期解決に資する研究協議会の開催を通して、各学校の人権教育担当者の資質向上を図る。

○内容

- ・地区別人権教育研究協議会、小中学校人権教育推進協議会、公立高等学校・県立特別支援学校人権教育推進協議会を開催する。
- ・県市町村人権教育推進連絡協議会を開催する。

人権教育指導者養成講座	390	生涯学習課
-------------	-----	-------

○目的・趣旨

人権教育に関する啓発活動の充実を図るため、県内市町村における人権教育(社会教育)の指導者を養成する。

○内容

- 委託計画に基づき、県内市町村に講座の開設を委託する。
2019年度委託先：渋川市、神流町、南牧村、沼田市、邑楽町

集会所等における人権教育推進	3,500	生涯学習課
----------------	-------	-------

○目的・趣旨

人権に関する学習活動を推進し、広く県民の理解と認識を深め、差別意識の解消を図るとともに、人権問題の解決と人権に関わる教育活動の充実を図る。

○内容

市町村が地域の集会所等を拠点として実施する地域の実情に即した人権に関する講座や地域住民の参加・交流を促進する事業に対し、その経費の一部を補助する。

人権教育研究推進	1,316	義務教育課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

人権教育に関する地域や学校の特色を生かした実践的な取組を通して、人権教育の指導方法の改善及び一層の充実を図る。

○内容

- ・総合推進地域及び研究指定校を位置付け、実践的な研究を行う。
- ・人権重要課題と新学習指導要領の内容との関連を示した「人権教育推進資料」を作成し、各学校等へ配布する。

人権教育研修	404	生涯学習課
--------	-----	-------

○目的・趣旨

市町村の社会教育主事、集会所担当者、社会教育団体役員等を対象に、教育事務所ごとに研修会を実施し、その資質の向上に努める。

○内容

教育事務所ごとに、「群馬県人権教育の基本方針」「群馬県人権教育充実指針」に基づいた人権教育を推進するために必要な事項の研修や協議を実施する。

3 豊かな人間性の育成〈児童生徒の心のケアシステム推進、自殺の防止〉

いじめの正確な認知に基づく適切な対応、いじめを許さない心を

育むための児童生徒による自主的な活動の支援)

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
SNSを活用した相談体制構築に向けた調査研究	9,950	高校教育課

○目的・趣旨

高校生が、不安や悩みを深刻化させたり、犯罪被害に遭ったりすることがないように、生徒にとって身近な通信手段であるLINEを利用した相談を行い、事業効果を検証する。

○内容

教育委員会が作成するLINEアカウント（QRコード）を相談対象者に周知し、友達登録を行うことにより、相談対象者からのメッセージを直接受け付け、相談員と双方向のやり取りを行う。

児童生徒の心のケアシステム推進	255,966	義務教育課
-----------------	---------	-------

○目的・趣旨

いじめや不登校などの未然防止、早期発見・早期対応のためスクールカウンセラー等を配置し、児童生徒・保護者・教職員への支援を行い、学校における教育相談体制の充実を図る。

○内容

- ・スクールカウンセラーを公立小中学校全校に配置するとともに、より深刻な事案に対応するスーパーバイザーを5教育事務所に配置する。
- ・適応指導教室を支援する自立支援アドバイザーを配置する。

児童生徒の心のケアシステム推進	43,895	高校教育課
-----------------	--------	-------

○目的・趣旨

不登校やいじめなどの課題に適切に対応するとともに、きめ細かな心のケアを行うため、学校における教育相談体制の充実を図る。

○内容

県立高等学校・中等教育学校の全校・全課程（全日制62校、定時制13校、通信制4校）に臨床心理士等のスクールカウンセラーを配置し、生徒、保護者へのカウンセリング及び教職員への助言・援助を行う。また、緊急時などには、スクールカウンセラースーパーバイザーを派遣し、学校を支援する。

いじめ問題対策推進	2,015	義務教育課 高校教育課
-----------	-------	----------------

○目的・趣旨

いじめ問題の解決に向けて、児童生徒によるいじめ防止活動への主体的な取組を推進する。

○内容

- ・県内12地区で小中学生、高校生によるいじめ防止フォーラムを開催する。
- ・いじめ防止ポスターコンクールを実施し、啓発ポスターを作成・配布する。

3 豊かな人間性の育成

いじめの正確な認知に基づく適切な対応、いじめを許さない心を

育むための児童生徒による自主的な活動の支援)

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
いじめ対策	7,179	総合教育センター

○目的・趣旨

「子ども教育相談室」を窓口として、いじめ問題について児童生徒や保護者等からの相談に応じることにより、問題解決へ向けた支援の充実を図る。

○内容

- ・いじめに悩む児童生徒や保護者等からの来所相談、電話相談に対応する。

相談時間(来所)：月曜日～金曜日の午前9時から午後5時

第2、第4土曜日の午前9時から午後3時

(祝日・年末年始は除く)

相談時間(電話)：月曜日～金曜日の午前9時から午後5時

(祝日・年末年始は除く)

上記以外の時間は、専門業者の電話相談へ転送

- ・「子ども教育相談カード」を県内の園児・児童生徒等に配付して、相談窓口の周知を図る。

子ども教育相談運営	4,192	総合教育センター
-----------	-------	----------

○目的・趣旨

「子ども教育相談室」を窓口として、不登校や児童生徒が直面している多様な問題について、児童生徒や保護者からの相談に応じることにより、問題解決へ向けた支援の充実を図る。

○内容

- ・不登校や学校及び家庭生活に課題を有する児童生徒や保護者、教職員等からの来所相談、電話相談に対応する。

相談時間：月曜日～金曜日の午前9時から午後5時

第2、第4土曜日の午前9時から午後3時

(祝日・年末年始は除く)

3 豊かな人間性の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
全日本中学生水の作文コンクール	91	地域政策課 (土地・水対策室)

○目的・趣旨

水の貴重さを広く啓発する「水の日」及び「水の週間」の行事の一環として、次代を担う中学生を対象とした作文コンクールを実施することにより、水に対する関心を高め、理解を深める。

○内 容

- ・水循環政策本部、国土交通省及び都道府県主催
- ・県内の中学生を対象に、暮らしの中で体験している水にまつわる話や水についての考え、今後の水の使い方についての「水の作文」を広く募集・審査し、優秀作を知事表彰するとともに、特に優秀な作品については県代表として全国審査会に推薦している。

ぐんまウォーターフェア	2,500	地域政策課 (土地・水対策室)
-------------	-------	--------------------

○目的・趣旨

水の大切さ、水力発電所やダム等の水資源施設の果たす役割について、県民の理解を深めるイベントを開催する。

○内 容

- ・パネル展示や簡単な実験により、健全な水循環や水の性質等について子どもたちに楽しく学んでもらう。
- ・全日本中学生水の作文コンクール群馬県審査優秀賞作品を展示する。

中学・高校・大学等へのDV防止啓発講師派遣	462	県民生活課
-----------------------	-----	-------

○目的・趣旨

男女間の交際が始まる若年期に、交際相手等からの暴力の問題について考える機会を提供し、正しい知識と理解を深める。

○内 容

県内の中学・高等学校・大学等にデートDV防止に関する講師を派遣し、生徒・学生を対象とした講座を開催する。

若年層を対象にした人権啓発	600	県民生活課
---------------	-----	-------

○目的・趣旨

若年層世代に人権への理解や関心を深めてもらうため、芸術文化活動を通じた人権啓発事業を実施する。

○内 容

県内の若年層が行う舞台芸術を対象分野とし、人権をテーマとした作品の上演を通して若者の人権意識の啓発を図る。

3 豊かな人間性の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
少年の主張群馬県大会	566	子育て・青少年課

○目的・趣旨

中学生自身が家族や友人、社会への思い、感銘を受けた経験などを自分の言葉でまとめ、多くの人に発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、中学生に対する県民の理解や関心を深め、青少年健全育成活動の一助とする。(1979年に国際児童年の記念事業として開催され、今年度で41回目)

○内容

- ・県、県教育委員会、県青少年育成推進会議、市町村教育委員会主催
- ・県大会出場者16名は、各中学校や市町村で行われた予選会、さらには県内のブロック大会で優秀な成績を収め、参加者約4万6千人から代表として選ばれている。
- ・最優秀賞受賞者は、少年の主張全国大会のブロック代表候補者として推薦している。

「少年の日」「家庭の日」普及啓発作品コンクール	296	子育て・青少年課
-------------------------	-----	----------

○目的・趣旨

1965年度から毎月第1日曜日を「家庭の日」、1983年度から毎月第1土曜日を「少年の日」と定め、青少年の健全育成のための県民運動を推進、普及啓発するための絵画、ポスター及び標語を募集し、コンクールを実施する。

○内容

- ・県、県教育委員会主催
- ・「少年の日」の作品は、スマートフォン等の適正な利用を呼び掛けるもの、あいさつ運動、スポーツ活動等
- ・「家庭の日」の作品は、スマートフォン等の適切な使い方と家族団らんの大切さを伝える内容のもの、家族との会話、食事の様子等

生命を育む講座事業	4,000	児童福祉課
-----------	-------	-------

○目的・趣旨

児童生徒が自らの命の大切さと親子関係を見直し、自他を思いやることができるよう、自己肯定感や自尊感情を育むとともに、予期しない妊娠を防ぐための性に関する正しい知識を学び、自分のライフプランを考えて将来の行動を選択できることを目指す。

○内容

群馬県助産師会の会員が県内80校(小・中・高・特別支援学校)に出向き、会独自に開発した教材とDVD、出産模擬体験教材等を用いて生命の成り立ちや出産に関わる体験学習等を通して、生命の大切さや性に対する正しい知識を学ぶ講座を実施する。

3 豊かな人間性の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
食育の推進	4,141	保健予防課

○目的・趣旨

「食の大切さを理解し、食を通して豊かな人間性を育む」を基本理念とする、群馬県食育推進計画（第3次）「ぐんま食育こころプラン」の推進を通して、教育現場等との連携の下に「心」を大切にされた食育に取り組む。

○内 容

・食育推進体制整備

子どもの頃から健全な食生活を確立できるよう、子どもの食育の基礎を形成する家庭や、教育機関、市町村、職域などと連携を図り、子どもへの食育の取組を確実に推進するための体制整備を行う。

・食育推進事業

子どもたちが豊かな心と健やかな身体を育むことを重視し、生涯にわたり食育を続ける（実践）ために、基本的な生活習慣の形成につながる取組を推進する。また、子どもへの地域食文化の継承や、そのための人材育成にも取り組む。

若年層献血者対策	1,498	薬務課
----------	-------	-----

○目的・趣旨

若年層の献血及び献血推進活動を奨励することにより、命の大切さを学ぶとともに助け合いの精神を育み、社会に貢献する意識の醸成を図る。

○内 容

・「はたちの献血」キャンペーンの展開

・献血バスにより献血を実施する高等学校の1年生に対し啓発品を配付する。

・インターネットサイトの動画配信で献血の啓発動画を放映し、若年層等への啓発を実施する

薬物乱用防止啓発活動	3,990	薬務課
------------	-------	-----

○目的・趣旨

麻薬、覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物乱用が大きな社会問題となっていることから、薬物乱用による健康被害や様々な犯罪の誘発など、社会に与える影響を広く県民に周知することを目的に、薬物乱用防止の啓発活動を推進し、薬物乱用の撲滅を目指す。

○内 容

・学生や一般県民を対象とした薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施する。

・小中高生を対象とした薬物乱用防止教室に講師を派遣する。

・県民の中から400名に薬物乱用防止指導員を委嘱し、県内各地域に即した形で薬物乱用防止啓発活動を展開する。

・栽培が禁止されている大麻・けしの巡回パトロールやチラシによる啓発を実施する。

3 豊かな人間性の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
群馬県戦没者追悼式	7,573	国保援護課

○目的・趣旨

先の大戦における戦没者に対し県民を挙げて追悼の誠を捧げるとともに、世界の恒久平和の確立を祈念する。

1963年度第1回。2019年度は第57回目となる。

○内容

・形式 無宗教献花方式

・次第

- (1) 式辞 知事
- (2) 黙とう 全国戦没者追悼式の実況放送に合わせて行う
- (3) 追悼の辞 県議会議長等
- (4) 平和への誓い 次の世代を担う若者代表（高校生2名）
- (5) 献花 遺族及び知事、県議会議長、次の世代を担う若者代表等

動物ふれあい推進	5,702	食品・生活衛生課
----------	-------	----------

○目的・趣旨

子どもたちが動物とのふれあいを通じて動物の生態を知り、正しい飼い方等について体験することで動物愛護精神の普及を図るとともに、動物由来感染症防止対策を講じて子どもたちが安全で快適に学べる場を提供する。

○内容

・体験授業活動

事業対象施設で動物と子どもたちが直接ふれあう実体験授業である「ふれあい教室」を開催し、動物愛護の啓発と学校授業への協力を行う。

・衛生管理指導

事業対象施設に飼育動物の衛生管理指導等を行い、動物由来感染症防止対策（飼育動物の健康診断、飼育管理指導）を講じるとともに、必要な治療を行う。

動物愛護ポスターコンクール	167	食品・生活衛生課
---------------	-----	----------

○目的・趣旨

子どもたちが動物愛護ポスターの作成を通じて、命の大切さと動物への慈しみの情操の涵養を図る。

○内容

- ・動物愛護週間の行事の一環として、動物愛護ポスターを広く県内の小中学校及び特別支援学校の児童生徒から募集する。
- ・動物愛護週間に合わせ、県庁32階展望ホールにて入選作品の展示を行い、また優秀作品入選者の表彰式を開催する。

3 豊かな人間性の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
夏休み食の現場親子リポーター事業の実施	193	食品・生活衛生課

○目的・趣旨

食品が食卓に届くまでの様々な食の現場（農場、市場、食品工場、スーパーなど）を夏休みに親子で訪問し、働いている方々と交流することにより、食の安全・安心への取組について知識や理解を深める。

○内 容

県内の小学生を対象に、夏休みに親子で食の現場取材した食の安全・安心に関するレポートを募集する。提出されたレポートは、県ホームページに掲載する。

4 健やかな体の育成〈学校体育の充実〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
学校体育指導協力者派遣	675	健康体育課

○目的・趣旨

小学校、中学校及び高等学校の体育担当教員に対し実技の指導及び助言を行うため、学校体育実技指導者を派遣し、学校における体育の充実を図る。

○内容

- ・小学校又は中学校の体育の授業で、児童生徒に対し、体育担当教員に協力して行う実技の補助指導等による指導及び助言
- ・校内研修会や郡市の体育研修会等での実技の指導及び助言
- ・学校訪問による実技の指導及び助言

ぐんまの子どもの体力向上推進事業	4,348	健康体育課
------------------	-------	-------

○目的・趣旨

本県の児童生徒の体力向上に向け、学校が中心となり家庭や地域と連携し、地域の人的資源を活用しながら児童生徒の体力向上のための総合的な取組を実施するとともに、その成果を県内に広く発信する。

○内容

- ・県内の全ての小学校・中学校において、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等に基づく自校の体力向上プランを作成し、年間を通して体力向上にかかる取組を学校が中心となり、家庭や地域と連携して実施する。
- ・各地域の小学校・中学校から、各校の課題解決に向けた体力向上の取組のモデルとなるよう体力向上推進モデル校を4校（小学校2校、中学校2校）を選出し、模範となる体力向上にかかる取組を実施する。
- ・子どもの体力向上指導者研修会の実施、体力優良証の交付、体力向上取組優良校の表彰、体力優良証交付率優良校の表彰、子どもの体力向上に関する報告書の作成、配付を行う。

オリンピック・パラリンピック教育推進	1,613	健康体育課
--------------------	-------	-------

○目的・趣旨

本県の児童生徒のオリンピック・パラリンピックへの興味関心を向上させ、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等を深める。

○内容

オリンピック・パラリンピック教育推進校を8校（小学校2校、中学校2校、高等学校2校、特別支援学校2校）選定し、オリンピック・パラリンピック教材を活用した授業実践や講師を招いての講演会等を実施するとともに、教育推進校の取組や実践事例を県内に広く発信する。

4 健やかな体の育成〈運動部活動の推進と適正な運営〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
運動部活動指導員配置促進	17,472	健康体育課

○目的・趣旨

単独での指導や大会の引率ができる部活動指導員を中学校の運動部活動に配置することで、部活動の指導体制の充実や教職員の働き方改革、多忙化解消を図る。

○内容

中学校の運動部活動に、指導や単独での引率等を行える部活動指導員を配置する市町村に対して補助する。

スポーツエキスパート活用	1,669	健康体育課
--------------	-------	-------

○目的・趣旨

生徒の多様な実技指導のニーズへの対応や、顧問の指導力の向上に寄与することにより運動部活動の充実を図る。

○内容

県立高等学校の運動部活動に対し、外部指導者を派遣し実技指導及び助言を行う。

地域スポーツ人材の活用実践支援	743	健康体育課
-----------------	-----	-------

○目的・趣旨

スポーツ医科学等の専門的な知見を有する外部指導者の活用を通して、中学校における組織的な指導体制の整備、適切な指導内容・方法の定着等、運動部活動指導の工夫・改善を図る。

○内容

- ・運動部活動に専門的技術指導を必要とする中学校に対して、地域の優秀な指導者を派遣し、運動部活動の適切な指導体制の在り方や外部指導者の効果的な活用の在り方について実践的研究を行う。
- ・スポーツ医科学等の専門的技術指導を必要とする中学校に対して、アスレティックトレーナーや専門的な知見を有する指導者を派遣し、適切な指導の在り方や効果的な活用方法について実践的研究を行う。

全国高校総体事務局運営及び実行委員会費補助	67,176	健康体育課
-----------------------	--------	-------

○目的・趣旨

全国規模のスポーツ大会を本県で開催することにより、出場する生徒や関係する学校、地域住民に対しても活力を与える。

○内容

幹事県として、2020年に北関東4県を中心として開催される全国高校総体開催に向けての準備業務を行う。

4 健やかな体の育成〈健康教育・食育の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
エイズ教育充実・強化	312	健康体育課

○目的・趣旨

エイズのまん延防止対策及びエイズに関する差別や偏見を取り除くため、正しい知識や情報の普及と指導方法の充実を図る。また、県立学校における性・エイズ教育の充実を図る。

○内容

- ・県立高等学校、特別支援学校（高等部）で実施する性・エイズ講演会の経費を措置し、性・エイズ教育の推進に役立てる。
- ・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員を対象に研修会を開催する。

喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実・推進	161	健康体育課
----------------------	-----	-------

○目的・趣旨

青少年における覚せい剤等の薬物乱用を防止するため、正しい知識や情報の普及と指導方法の充実を図る。

○内容

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員及び外部指導者を対象に喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導について研修会を開催する。

がん教育推進	589	健康体育課
--------	-----	-------

○目的・趣旨

生涯の健康づくりの基礎を培う時期に、児童生徒にがんに対する正しい知識を習得させるとともに、日常生活において健康的な生活を送ることができる力を育成するためのがん教育について、教職員や保護者等への啓発を行う。

○内容

- ・協議会及び検討委員会を組織し、がん教育を具体的に展開するための内容等を検討する。
- ・小学校、中学校及び高等学校から、モデル校をそれぞれ1校選出し、地域の実情に応じたがん教育を実施する。
- ・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員並びに外部講師を対象にがん教育に関する研修会等を開催する。

学校給食ぐんまの日	134	健康体育課
-----------	-----	-------

○目的・趣旨

学校給食に地場産物を取り入れることにより、地域の自然や食文化、生産に携わる人々への理解を深め、心身共に豊かな子どもを育成することを目的に制定された「学校給食ぐんまの日」の推進を図るための事業を展開する。

○内容

「学校給食ぐんまの日」に関する絵画コンクールを実施する。

4 健やかな体の育成〈健康教育・食育の推進〉〈適正な健康管理〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
学校における食育推進	69	健康体育課

○目的・趣旨

学校における食育を推進するため、教職員の食育に係る資質向上や指導体制の充実を図るための事業を展開する。

○内容

- ・教職員を対象に、食育推進に関する研修会を開催する。
- ・栄養教諭がその職務を円滑に執行し、食に関する指導の充実を図ることができるよう栄養教諭制度の推進、支援を図る。

児童生徒健康診断	61,694	健康体育課
----------	--------	-------

○目的・趣旨

適正な健康診断を実施し、疾病の早期発見と早期治療を行うことにより、児童生徒の健康の保持増進や保健管理を図る。

○内容

- 県立学校児童生徒の健康診断を実施する。
- ・心臓検診（アンケート調査、心電図・心音図検査、判定）
 - ・尿検査（潜血、蛋白、糖、PH検査、白血球）
 - ・貧血検査（ヘモグロビン、ヘマトクリット）
 - ・結核検診（胸部X線撮影、精密検査）
 - ・消化器感染症検査

学校保健総合支援事業	448	健康体育課
------------	-----	-------

○目的・趣旨

児童生徒の現代的な健康課題に対応するため、地域の実情を踏まえ、医療機関と連携した事業を展開し、学校保健における教員等の指導者を育成する。

○内容

- ・協議会を組織し、地域の健康課題の把握、解決施策の検討、事業の評価等を行う。
- ・具体的な健康課題についての検討委員会を開催し、課題解決の調査研究や啓発資料の作成等を行う。
- ・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員を対象に研修会を開催する。

4 健やかな体の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
競技力向上対策費(選手強化費)	202,000	スポーツ振興課

○目的・趣旨

本県のスポーツ選手が、国体及び各種全国大会で優秀な成績を収め、さらには、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場できるよう、各競技団体等が実施する強化活動等に補助し、競技力向上を図る。

○内容

- ・団体助成（競技団体、高体連、中体連等）
- ・競技力向上推進（ジュニア育成事業、指導者養成・資質向上事業、スポーツ医科学活用事業等）
- ・ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

わくわく運動プロジェクト	6,000	スポーツ振興課
--------------	-------	---------

○目的・趣旨

2028年に本県で開催予定の国民体育大会や、全国障害者スポーツ大会を県民総参加で開催できるように、広く周知し気運醸成を図るとともに、これらの大会で活躍が期待される世代の子どもと、その家族を主な対象に、親子スポーツ教室などを実施し、スポーツへの興味関心を高め、本格的なジュニア育成事業につなげていく。

○内容

「目指せ！未来のアスリートわくわく運動プロジェクト」として、親子スポーツ教室、国体競技や障害者スポーツ競技の運動体験等を実施する。

群馬県スポーツ顕彰等推進	1,078	スポーツ振興課
--------------	-------	---------

○目的・趣旨

世界大会や全国大会で優秀な成績を収め、県民に感動と元気を与えてくれた競技者や指導者を顕彰し、その栄誉を讃え、県民の郷土意識の高揚に資する。

○内容

スポーツ栄誉賞（業績が特に抜群で、県の名声を高めた者）・スポーツ功労賞（選手・団体の育成指導等に優れた成果を上げた者）及び優秀選手賞

ふれあいスポーツプラザ運営	136,814	障害政策課
---------------	---------	-------

○目的・趣旨

障害者及び高齢者のスポーツ及びレクリエーション活動の振興、社会参加の促進を図る。

○内容

障害者等へのスポーツ・レクリエーションの場を提供するとともに、各種スポーツ教室、スポーツ大会及びスポーツ指導者講習会の開催、医事・リハビリ相談などを行う。

4 健やかな体の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
ゆうあいピック記念温水プール運営	70,438	障害政策課

○目的・趣旨

障害者及び高齢者のスポーツ及びレクリエーション活動の振興、社会参加の促進を図る。

○内容

障害者等へのスポーツ・レクリエーションの場を提供するとともに、水泳教室等の開催、医事・リハビリ相談などを行う。

障害者スポーツ普及推進	7,415	障害政策課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

スポーツに関して幅広く情報発信することにより、障害者スポーツの普及を図るとともに、スポーツを通じて県民の障害者に対する理解を深める。

○内容

- ・障害者スポーツに関するホームページを作成し、障害者スポーツに関する情報を発信する。
- ・障害者スポーツに関する情報の提供や、相談に応じるコーディネーターを群馬県障害者スポーツ協会に配置し、障害者とスポーツのマッチングを行う。
- ・障害者スポーツのトップアスリートを特別支援学校等に招き、交流事業を実施する。

障害者スポーツ競技力向上	8,056	障害政策課
--------------	-------	-------

○目的・趣旨

パラリンピック等の国際大会で活躍する選手を輩出するため、障害者スポーツの競技力向上を図る。

○内容

優れた人材を早期に発掘して、関係団体との連携により、計画的な育成・支援を図るパラアスリート発掘・育成事業を実施する。

群馬県障害者スポーツ大会運営委託	11,083	障害政策課
------------------	--------	-------

○目的・趣旨

障害者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障害者スポーツの発展を図るとともに、県民の障害者に対する正しい理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加を促進する。

○内容

群馬県障害者スポーツ大会の実施（個人競技：陸上ほか6競技、団体競技：サッカーほか5競技）

4 健やかな体の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
全国障害者スポーツ大会選手団派遣等	17,018	障害政策課

○目的・趣旨

障害者が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験し、相互の交流を深めることにより、障害者の自立と社会参加の推進を図る。

○内 容

- ・茨城県で開催される全国障害者スポーツ大会への選手団派遣（選手選考記録会等により派遣選手を決定し、強化練習会を経て、茨城大会に参加）
- ・全国障害者スポーツ大会関東ブロック予選会への選手派遣（団体競技は、地方ブロック予選会の優勝チームが参加権を得るため、関東ブロック予選会に本県チームを派遣）

身体障害者スポーツ・文化活動助成	893	障害政策課
------------------	-----	-------

○目的・趣旨

身体障害者のスポーツ・文化活動を支援する。

○内 容

個別化、多様化している身体障害者のスポーツ・文化活動を振興するため、活動クラブ・団体等に助成する。

子どもを対象とした乗馬教室の開催	—	畜産課
------------------	---	-----

○目的・趣旨

乗馬を通じて青少年の健全な心身の育成と動物愛護精神（かんとく）の涵養を図る。

○内 容

- ・開催時期：夏休み、冬休み等
- ・会 場：群馬県馬事公苑
- ・対 象：小学校3年生～高校生

馬事公苑乗馬少年団	—	畜産課
-----------	---	-----

○目的・趣旨

乗馬少年団員を募集・採用し、団員が年間を通じて馬に接することにより、健全な青少年の育成を図る。

○内 容

乗馬、厩務作業等を行い、馬事知識を習得するとともに社会性を養う。

- ・開催時期：土、日曜日を中心
- ・会 場：群馬県馬事公苑
- ・対 象：小学校5年生～高校生の県内在住者

5 信頼される学校づくり〈教員の指導力向上〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
スクール・サポート・スタッフの配置	79,017	学校人事課

○目的・趣旨

学校内における事務作業等を教員に代わって行うための人的配置を行い、長時間労働の改善及び児童生徒と向き合う時間の確保を図る。

○内 容

比較的大規模な小中学校を中心に、主に日常的な授業準備や印刷・会計等の業務に係る作業や、学校評価等の集計・データ処理等の補助を行う職員を配置する。

教育研修員研修の実施	539	総合教育センター
------------	-----	----------

○目的・趣旨

教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研修を実施し、教員の資質向上を図るとともに、児童生徒の学力向上と健全育成に資する。

○内 容

・長期研修

所属校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成するため、総合教育センターで1年間の研修を行う。

・長期社会体験研修

社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、キャリア教育の充実を図るため、企業等で1年間の研修を行う。

・特別研修

指導方法、評価方法の改善や指導力の向上を図るため、総合教育センターで年間25日の研修を行う。

研修支援隊	515	総合教育センター
-------	-----	----------

○目的・趣旨

県内の公立学校園等を対象に、校内研修への支援を行い、教職員の資質能力の向上及び授業内容の充実に資する。

○内 容

総合教育センター職員が各学校園等に出向き、校内研修等の実施支援を行う。また、総合教育センター所有の教材・教具について貸出・提供を行う。

学校における職場環境の整備	—	学校人事課
---------------	---	-------

○目的・趣旨

教職員の多忙化解消に向け、県教育委員会関係各課及び市町村立学校のサービスを監督する市町村教育委員会と連携し、具体的な対策の推進を図る。

○内 容

県教育委員会各課、市町村教育委員会などの関係者による教員の多忙化解消に向けた対策を検討するため協議会を開催するとともに、管理職を対象として、多忙化解消・長時間労働の解消に向けた研究協議、情報交換を行う。

5 信頼される学校づくり〈教員の指導力向上〉

〈様々な課題への対応力の向上、生徒指導体制の充実〉〈教職員の健康の保持増進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
教職員研修の実施(研究企画研修等)	12,537	総合教育センター

○目的・趣旨

教職員のライフステージに応じて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づいた研修を実施し、教職員の資質能力の向上を図る。

○内容

群馬県教員育成指標を踏まえ、国や県の動向、今日的な教育課題に対応した研修を実施する。

学びと家庭のサポート	48,105	義務教育課
------------	--------	-------

○目的・趣旨

児童生徒の健全育成に関して経験豊富な指導者や福祉等の専門家を学校や教育事務所等に配置し、警察や福祉部局等の関係機関と連携を図りながら、子どもたちの学校生活や家庭生活の支援を行う。

○内容

- ・生徒指導上の課題を抱えている中学校18校に、青少年の健全育成について経験豊かな生徒指導担当嘱託員18名を配置する。
- ・児童生徒の環境に働きかけた支援を行うため、市町村からの要請に対応する派遣型スクールソーシャルワーカー6名と、県内36の重点中学校区を定期的に訪問・支援する巡回型スクールソーシャルワーカー6名を配置する。
- ・県青少年育成センターに相談業務に従事する指導員を1名配置する。

学校非公式サイト等調査・監視	1,870	高校教育課
----------------	-------	-------

○目的・趣旨

高校生のインターネット利用に係る様々な問題の未然防止や早期解決を図るため、インターネット上での調査・監視等を行う。

○内容

インターネット上の調査・監視等の業務を専門業者に委託し、不適切な投稿が検出された場合等は学校への情報提供や対応の支援等を行う。また、インターネットの安心・安全な利用等に係る生徒や教職員対象の研修会を行う。

職員保健管理	44,648	福利課
--------	--------	-----

○目的・趣旨

教職員等の健康の保持増進を図り、学校教育及び学校運営の充実を図る。また、ストレスチェックを実施し、自身のストレスへの気づきを促すとともに、働きやすい職場環境づくりにつなげることで、メンタルヘルスの不調等を予防する。

○内容

定期健康診断、特定業務従事者健診及びがん検診(胃・大腸・肺)等を実施するほか、ストレスチェック、各種メンタルヘルス研修、メンタルヘルス相談、復職支援等を実施する。

5 信頼される学校づくり

〈障害のある子への適切な対応等〉〈特別支援学校の整備〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
特別支援学校医療的ケア支援	57,243	特別支援教育課

○目的・趣旨

県立特別支援学校において医療的ケアが必要な児童生徒の指導体制及び健康管理体制を総合的に整備するとともに、教員の医療に関する専門性を高める。

○内容

- ・特別支援学校における安全・適正な医療的ケアの実施体制を確保するため、教育、福祉、医療等の専門家からなる運営協議会を開催する。
- ・医療的ケアが必要な児童生徒が在籍する県立特別支援学校を実施対象校として指定し、指導医、看護師を派遣するとともに、教員と看護師が連携した指導の充実、保護者負担の軽減を図る。(実施対象校11校に、指導医11人、看護師26人を派遣)
- ・教員を対象とした医療的ケアや障害のある児童生徒の健康等に関する専門性を高めるため研修を充実させ、教員の資質向上を図る。

特別支援教育センター運営	5,282	総合教育センター
--------------	-------	----------

○目的・趣旨

子どもの発達に関する相談や特別支援教育の推進に係る情報を提供することにより、子どもへの適切な支援と特別支援教育の充実を図る。

○内容

- ・発達相談
 発達が気になる乳幼児及び児童生徒について、保護者や教職員等からの来所相談、電話相談、訪問相談を行う。
 相談時間：月曜日～金曜日の午前9時から午後5時
 第2、第4土曜日の午前9時から午後3時(祝日・年末年始は除く)
- ・特別支援教育センターWebページで、特別支援教育指導資料等を情報提供する。

藤岡特別支援学校整備	1,005,878	管理課 特別支援教育課
------------	-----------	----------------

○目的・趣旨

現在、仮設校舎で生徒を受け入れている高等部について、2020年4月から新校舎で生徒を受け入れるため、必要な工事を実施する。

○内容

藤岡特別支援学校高等部校舎新築工事(2箇年継続事業の後年度分)、体育館設計委託、駐車場整備及び実習用農地の確保を行う。

5 信頼される学校づくり

〈特別支援学校の整備〉〈特別支援学校のセンター的機能強化等〉
 〈地域とともにある学校づくり、高校教育改革の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
特別支援学校スクールバス運行	295,293	管理課 特別支援教育課

○目的・趣旨

県立特別支援学校に通う児童生徒及び保護者の通学負担を軽減するため、スクールバスを運行する。

○内容

沼田特別支援学校で新たに3路線の運行を開始するほか、二葉・二葉高等特別支援学校で3路線を新設(計5路線)、吾妻特別支援学校で1路線を新設(計2路線)するなど2019年度は、あわせて13校で28台を運行する。

小中学校・高等学校等相談支援	13,823	特別支援教育課
----------------	--------	---------

○目的・趣旨

幼稚園、認定こども園、小中学校、高等学校等に在籍する発達障害等のある幼児児童生徒に係る相談・支援の充実を図り、幼稚園、小中学校、高等学校等における特別支援教育を推進する。

○内容

各教育事務所に配置した11名の特別支援教育専門相談員及び県立特別支援学校に配置した22名の専門アドバイザーが、小中学校等からの要請に基づき、小中学校等を巡回し、発達障害等の特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒の教育に関する相談に応じる。

交流及び共同学習推進	1,055	特別支援教育課
------------	-------	---------

○目的・趣旨

障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶための交流及び共同学習を積極的に進めて相互の理解を促進し、共生社会の実現を図る。

○内容

- ・交流及び共同学習を組織的・計画的に実施するため、交流及び共同学習推進協議会を開催する。
- ・特別支援学校の児童生徒が居住地にある小中学校で共に学ぶ「居住地校交流」の充実を図るため、有償ボランティアを活用し、円滑な実施に向けた特別支援学校の体制を整備する。

桐生・みどり地区新高校整備	1,537,749	管理課 高校教育課
---------------	-----------	--------------

○目的・趣旨

少子化が進む中、教育の質の維持・向上や学校の活性化などのために再編する桐生・みどり地区の高等学校について施設整備を実施する。

○内容

- ・桐高・桐女新高校 増築校舎建築工事、武道場・部室棟建築工事等 を実施
- ・桐南・桐西新高校 教室棟増築建築工事、第2体育館建築工事、管理・特別教室棟改修工事等 を実施

5 信頼される学校づくり

〈地域とともにある学校づくり、高校教育改革の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
高校教育改革推進	1,186	高校教育課

○目的・趣旨

「高校教育改革推進計画」に基づく高校教育改革を推進する。

○内容

高校教育改革推進上の課題や今後の方策等を検討するため、有識者委員会等を開催する。

尾瀬ハートフルホーム・システム運営	13,090	高校教育課
-------------------	--------	-------

○目的・趣旨

自宅から通学困難な生徒が、尾瀬高校で取り組む自然環境学習や地域との交流に参加できるよう、地元における生徒の受入れ等を行う。

○内容

- ・ 宿舍借り上げ
- ・ ホームステイ指導事業
- ・ 尾瀬ハートフルホーム・システム運営委員会の開催
- ・ ふれあい交流事業
- ・ 自然環境に関する夏季公開講座

学校支援センター運営推進	990	義務教育課
--------------	-----	-------

○目的・趣旨

県内全ての市町村立小・中・特別支援学校に設置されている「学校支援センター」の取組を工夫・改善し、地域の教育力を活用した学校教育の充実を図る。

○内容

- ・ 学校で活躍するボランティアが安心して活動できるようにするため、保険による補償を行う。

5 信頼される学校づくり【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
群馬県公立大学法人運営費交付金	1,616,105	総務課

○目的・趣旨

県立女子大学及び県立県民健康科学大学を円滑に運営できるように、群馬県公立大学法人を支援する。

○内容

県立大学において、教育、研究及び社会・地域貢献を実施するために必要となる経費（人件費を含む）のうち、自己収入では不足する額について、県から運営費交付金を交付する。

大学施設整備	5,540	総務課
--------	-------	-----

○目的・趣旨

公立大学法人の施設（女子大学、県民健康科学大学）を適切に整備する。

○内容

県立大学の魅力アップのため、老朽化したトイレの更新を行う。

新規採用教員研修事業費補助等	1,170	学事法制課
----------------	-------	-------

○目的・趣旨

私立幼稚園教諭等の資質向上を図るため、各種研修事業を実施する。

○内容

- ・新規採用教員研修

私立幼稚園等特別支援教育経費補助	71,344	学事法制課
------------------	--------	-------

○目的・趣旨

心身に障害を有する幼児の私立幼稚園等への就園を促進し、心身の健全な発達を支援するため、経費の一部を補助することにより、障害幼児に対する正しい理解を深める。

○内容

- ・補助対象：私立幼稚園又は認定こども園（学校法人立に限る）
- ・補助対象経費：特別支援教育の実施に要する経常的経費

小児等在宅医療連携拠点事業	2,439	医務課
---------------	-------	-----

○目的・趣旨

N I C U（新生児特定集中治療室）で長期の療養を要した小児等が、在宅において必要な医療・福祉サービス等が提供され、地域で安心して療養できるよう、医療、福祉、教育等の関係機関の連携体制を構築する。

○内容

- ・医療、福祉、教育、行政等の関係者及び患者家族等による連絡協議会を開催し、小児等在宅医療の推進に係る課題や対応等について検討する。
- ・小児患者の在宅医療に対応可能な医師や訪問看護師を確保するため、県立小児医療センターや群馬県看護協会などが実施する人材育成事業に補助を行う。
- ・医療、福祉、教育、行政等の関係者による連携体制や県民の理解促進を図るため、シンポジウム等を開催する。

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

〈学校施設の長寿命化の推進、県立学校施設・設備整備〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
学校施設長寿命化推進	1,240,000	管理課

○目的・趣旨

昭和50年代に建設された県立学校が一斉に改修時期を迎えていることから、県立学校施設長寿命化計画に基づき、適切な維持保全を行い、施設の長寿命化を図る。

○内 容

- ・大規模改修工事
- ・防水改修工事
- ・緊急安全対策工事
- ・設備等更新工事
- ・トイレ改修工事、バリアフリー化対策工事等 を実施

県立高等学校等空調設備整備	108,406	管理課
---------------	---------	-----

○目的・趣旨

生徒の学習環境の改善を図るため、県立高等学校に設置された空調設備を維持管理する。

○内 容

県費設置空調及びP T A設置空調の維持管理を行う。

ブロック塀安全対策	200,000	管理課
-----------	---------	-----

○目的・趣旨

県立学校において、安全対策が必要なブロック塀等について、段階的に対策を実施し、安全を確保する。

○内 容

2019年度は、通学路など道路に面したブロック塀等を中心に実施（高等学校26校）

県立学校運営	2,045,982	管理課
--------	-----------	-----

○目的・趣旨

県立学校の維持管理を行い、教育環境の整備を図る。

○内 容

- ・全日制・定時制・通信制高校、中央中等教育学校及び特別支援学校の維持管理を行う。
- ・実験実習に必要な物品や学習活動に必要な不可欠な教材教具等を購入する。

学校施設特別維持整備	126,224	管理課
------------	---------	-----

○目的・趣旨

緊急を要する改修工事や維持保全工事等を行い、施設の安全性を確保するとともに教育環境の改善を図る。

○内 容

- ・県立学校施設の維持に必要な修繕工事等
- ・電波障害管理委託

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

〈学校施設の長寿命化の推進、県立学校施設・設備整備〉

〈ICT環境の整備と情報セキュリティの確保〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
県立学校財産管理	98,324	管理課

○目的・趣旨

県立学校が保有する教育財産の点検・保安管理等を適切に行い、教育環境の改善を図る。

○内容

- ・学校運営上必要な土地等を借り受ける。
- ・学校施設の現状を把握するための施設台帳を作成する。
- ・学校の消防用設備等点検及び電気工作物保安管理を行う。

県立学校における情報セキュリティ対策 (ぐんまスクールネット運営) (生徒情報管理システム)	115,992	管理課 高校教育課 健康体育課 総合教育センター
--	---------	-----------------------------------

○目的・趣旨

県立学校における情報セキュリティ対策を実施し、生徒情報や成績情報などの漏洩リスクを低減させる。

○内容

- (1) 「ぐんまスクールネット」のセキュリティ対策
 - ・校内ネットワークの分離
 - ・データ及び接続端末を一元管理するサーバの導入
 - ・情報資産管理システムの導入
 - ・県立学校の接続回線の専用線化
- (2) 統一版の生徒情報管理システムを全県立高等学校等に導入
 - ・機密情報(生徒・成績情報)の一元管理

県立学校緊急情報セキュリティ対策	404,668	管理課
------------------	---------	-----

○目的・趣旨

生徒及び教職員が使用するコンピュータを計画的に更新し、情報セキュリティ対策を推進する。

○内容

教育用・校務用コンピュータをリース方式により整備する。

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

(就(修)学、多様な教育機会確保のための支援、外国人児童生徒の教育の充実)

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援	94,244	義務教育課

○目的・趣旨

帰国・外国人児童生徒等に対する教育支援事業を行う市町村に対して、当該事業を実施するための経費の一部を補助し、支援体制の充実を図る。

○内容

- ・拠点校等の設置等を通じた、帰国・外国人児童生徒教育担当教員と支援員等による計画的な指導体制の構築
- ・一人一人の日本語能力等に応じた個別の指導計画の作成・指導・学習評価などの実践研究
- ・地域や県内に向けた研究成果の発信
- ・補助対象：市町村
- ・補助率：2/3(国1/3、県1/3)以内

外国人児童生徒等教育・心理サポート	2,734	義務教育課
-------------------	-------	-------

○目的・趣旨

言語・文化・習慣の違い、家庭環境、経済的理由等により、不登校・不就学に陥りそうな外国人児童生徒等を支援する。

○内容

多言語での教育電話相談や心理カウンセリング、日本語指導・教科指導等を実施する。

就学支援金(公立高等学校等)	4,029,835	管理課
----------------	-----------	-----

○目的・趣旨

公立の高等学校等に在籍する中・低所得世帯の生徒に対して、授業料相当額を就学支援金・学び直しへの支援金として支給することにより、教育費の負担軽減を図る。

○内容

- ・対象者：2014年4月以降に入学した生徒で、保護者等の道府県民税所得割・市町村民税所得割の合算額が507,000円未満の者
- ・支給額：

全日制・中等教育(後期課程)	月額	9,900円
定時制(定額制)	月額	2,700円
定時制(単位制)	1単位	1,740円
通信制	1単位	336円

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

(就(修)学、多様な教育機会確保のための支援、外国人児童生徒の教育の充実)

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
奨学のための給付金(国公立高等学校等)	514,025	管理課

○目的・趣旨

高等学校等に通学する全ての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯に対して給付金を給付する。

○内容

- ・対象者：生活保護世帯で生業扶助を受給している世帯及び道府県民税所得割・市町村民税所得割が非課税である世帯のうち、本県内に在住し、2014年4月以降に国公立高等学校等に入学した生徒のいる保護者等
- ・支給額：生活保護受給世帯

全課程	32,300円
(年額)道府県民税所得割・市町村民税所得割非課税世帯	
全日制・定時制	82,700円
通信制	36,500円
うち15歳以上23歳未満の扶養されている兄弟・姉妹がいる世帯	
全日制・定時制	129,700円
通信制	36,500円

特別支援教育就学奨励	259,142	特別支援教育課
------------	---------	---------

○目的・趣旨

県内公・私立特別支援学校で学ぶ児童生徒の保護者の経済的負担を軽減する。

○内容

県内公・私立特別支援学校26校で学ぶ児童生徒の保護者が負担する給食費、学用品購入費、修学旅行費等の経費の全部又は一部を、保護者の負担能力に応じて国及び県で支援を行う。

- ・負担(補助)率：国1/2、県1/2

教育文化事業団奨学金(高等学校等奨学金貸与事業運営費補助)・群馬県高等学校等奨学金	13,981	管理課
---	--------	-----

○目的・趣旨

経済的理由により修学困難と認められた高校生に対し奨学金を貸与するため、奨学金事業を運営する(公財)群馬県教育文化事業団の運営費を補助する。

旧日本育英会が行っていた高等学校等奨学金貸与事業が都道府県に移管されたことに伴い、(公財)群馬県教育文化事業団が貸与事業を行っているもの。

また、事業団による奨学金を補完する形で、県直営により、同様の奨学金を貸与している。

○内容

奨学金貸与事業の運営に必要な経費を補助金として交付する。

(奨学金の貸与金額)

- ・貸与月額 公立18千円、私立30千円(自宅外通学は5千円加算)
- ・入学一時金 公立50千円、私立100千円

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

〈就（修）学、多様な教育機会確保のための支援、外国人児童生徒の教育の充実〉
 〈防災教育の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
被災児童生徒就学支援等	12,525	管理課

○目的・趣旨

東日本大震災等により被災し、県内の幼稚園、小中学校等に転入学（園）した幼児児童生徒の教育機会の確保に資するため、学用品費等の就学支援等を実施する市町村に対して、必要経費を補助する。

○内容

- ・被災幼児就園支援事業（幼稚園） 462千円
 保育料、入園料
- ・被災児童生徒就学援助事業（小中学校） 12,063千円
 学用品費、通学費、給食費、医療費等

市立特別支援学校費補助	38,046	特別支援教育課
-------------	--------	---------

○目的・趣旨

市立特別支援学校を設置する市に対し、運営費及び施設整備費を補助し、円滑な学校運営に資する。

○内容

（1）運営費補助

- ・対象経費：市費職員人件費、維持修繕費、光熱費、スクールバス運行費等經常経費（投資的経費は原則補助対象外）

- ・補助率：県2／3

（2）施設整備費補助

- ・対象経費：国庫補助の対象となる施設整備事業

- ・補助率：県2／3

学校安全総合支援	2,200	健康体育課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

防災教育を中心とした安全教育の指導方法や教育手法の開発・普及、地域と連携した児童生徒等の安全確保体制の構築・普及により、学校における安全教育及び安全管理の充実を図る。

○内容

- ・モデル地域を指定し、学校での効果的な避難訓練等の検討・実施を通して、実践的な安全教育手法を研究する。
- ・外部有識者を学校に派遣して、危機管理マニュアル、避難訓練等に対する点検及び地域住民や関係機関等との連携体制の構築に関する指導・助言を行う。

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

〈安全確保と安全教育の充実〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
地域ぐるみの学校安全体制整備推進	617	健康体育課

○目的・趣旨

児童生徒が安心して学校教育を受けられるよう、学校・家庭・地域と連携し、学校の安全管理に関する取組を実施する市町村を支援する。

○内容

防犯の専門家や警察官OB等に地域学校安全指導員（スクールガード・リーダー）を委嘱し、学校の安全に関する巡回指導やスクールガードに対する指導を行う市町村に対し、補助する。

交通安全教育推進	91	健康体育課
----------	----	-------

○目的・趣旨

児童生徒等が関わる交通事故を減少させ、生涯にわたって安全な生活を送れる知識や態度を育成するため、関係機関の連携を強化するとともに、喫緊の課題である中高生の交通安全意識を向上させる。

○内容

- ・知事部局、教育委員会、警察、関係団体等の連携会議を開催し、児童生徒等の発達段階に応じた系統的な交通安全教育を推進する。
- ・生徒自身による研究協議など、主体的かつ実践的な参加体験型研修会を実施することで、交通ルール理解と危険回避能力を高めるとともに、交通社会の一員であることを自覚させるための取組を行う。

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
私立高等学校等就学支援金	1,885,001	学事法制課

○目的・趣旨

私立高等学校等の生徒に対し、一定額を高等学校等就学支援金として助成し、授業料の負担軽減を図る。

○内 容

- ・支給対象：私立高等学校等に在学している生徒保護者の道府県民税所得割額と市町村民税所得割額の合算額が507,000円未満の世帯の生徒
- ・支給対象経費：授業料（支援金は学校設置者が代理で受領する）
- ・支給額：保護者の道府県民税所得割と市町村民税所得割の合算額が

0円（非課税）	年額297,000円上限
～85,500円未満	年額237,600円上限
～257,500円未満	年額178,200円上限
～507,000円未満	年額118,800円上限

学び直しのための支援金	3,275	学事法制課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

高等学校等を中途退学した者が、再び高等学校等で学び直す場合に、高等学校等就学支援金の支給期間36月（定時制・通信制は48月）の経過後も卒業までの間（最長2年）就学支援金相当額を支給し、授業料の負担軽減を図る。

○内 容

- ・支給対象：高等学校等を中途退学し、2014年4月以降に就学支援金対象校に入学した者で、前籍校の履修状況により就学支援金の支給期間等が満了している者
- ・支給額：私立高等学校等就学支援金補助額と同額

奨学のための給付金	170,003	学事法制課
-----------	---------	-------

○目的・趣旨

経済的理由により就学が困難な私立高等学校等の生徒に対して、奨学のための給付金を支給し、授業料以外の教育費の負担軽減を図る。

○内 容

- ・補助対象：2014年4月以降に私立高等学校等に入学した生徒のうち、保護者の道府県民税・市町村民税所得割が非課税世帯の生徒
- ・補助額：生活保護受給世帯 52,600円（通信制も同額）
 第1子の高校生等がいる世帯 98,500円（通信制38,100円）
 23歳未満の被扶養者がいる世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯 138,000円（通信制38,100円）

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
私立高等学校等入学金減免事業補助	39,390	学事法制課

○目的・趣旨

経済的理由により就学が困難な生徒に対して、入学金の減免を実施する学校設置者へ補助することにより、私立高等学校等の生徒の負担軽減を図る。

○内容

- ・補助対象：経済的理由により就学が困難な生徒の入学金を減免する学校設置者
- ・補助対象経費：経済的理由により就学が困難な生徒の入学金を減免するための経費
- ・補助額：保護者の道府県民税と市町村民税の所得割の合算額が
0円（非課税） 60,000円上限
保護者の市町村民税所得割が85,500円未満 30,000円上限

私立高等学校等授業料減免事業補助	1,100	学事法制課
------------------	-------	-------

○目的・趣旨

家計急変等による経済的理由により就学が困難な生徒について、授業料を減免する学校設置者に対して補助することで、私立高校生等の授業料の負担軽減を図る。

○内容

- ・補助対象：家計急変等の理由により就学が困難な私立高校生等の授業料を減免する学校設置者
- ・補助対象経費：家計急変等の理由により就学が困難な私立高校生等の授業料を減免するための経費
- ・補助額：私立小中学校（生活保護・家計急変） 月額14,000円上限
私立高等学校等（家計急変）
保護者の年収見込み250万円未満 24,750円から就学支援金として支給されている額を控除した額上限（月額）
保護者の年収見込み350万円未満 19,800円から就学支援金として支給されている額を控除した額上限（月額）

私立小中学校等児童生徒経済的支援実証事業	6,400	学事法制課
----------------------	-------	-------

○目的・趣旨

私立小中学校等に通う児童生徒への経済的支援について、授業料負担の軽減を行いつつ、実態把握のための調査を行う。

○内容

- ・支給対象：年収400万円未満、保有資産が600万円以下の世帯の児童生徒
- ・支給対象：小学校1年生から6年生、中学校1年生から3年生
- ・補助単価：年額100千円
- ・実施期間：2017～2021年度（5年間）

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
子育て支援施設等利用給付	87,163	学事法制課

○目的・趣旨

私立幼稚園保育料及び預かり保育利用料を負担し、幼児教育の無償化を図る。
(2019年10月～)

○内容

<保育料>

- ・支給対象：子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園の園児
- ・支給対象経費：保育料
- ・上限額：月額2.57万円
- ・負担割合：国1/2、県1/4、市町村1/4

<預かり保育利用料>

- ・支給対象：子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園の園児（保育の必要性があると認定を受けた場合に限る）
- ・支給対象経費：預かり保育利用料
- ・上限額：月額1.13万円
- ・負担割合：国1/2、県1/4、市町村1/4

私立幼稚園施設耐震診断促進費補助	684	学事法制課
------------------	-----	-------

○目的・趣旨

私立幼稚園が実施する耐震診断に要する経費の一部を補助することにより、耐震診断実施率を引き上げ、園児の安全を確保する。

○内容

- ・補助対象：私立幼稚園を設置する学校法人等
- ・補助対象経費：耐震診断に要する経費
- ・補助率：国庫補助事業 2/3、県単独事業 1/3

認定こども園（幼稚園）耐震化促進事業費補助	111,851	学事法制課
-----------------------	---------	-------

○目的・趣旨

認定こども園への移行を予定する私立幼稚園等が実施する、耐震化のための改築に要する経費の一部を補助することにより、耐震化を促進し、子どもの安全を確保する。

○内容

- ・補助対象：学校法人
- ・補助対象経費：耐震化のための改築に要する経費
- ・補助率：1/2

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
認定子ども園等における教育支援体制整備事業	33,427	学事法制課

○目的・趣旨

- (1) 私立幼稚園等が実施する遊具等の環境整備に要する経費の一部を補助することにより、質の高い環境で子どもを安心して育てることができる体制を整備する。
- (2) 認定子ども園等へ移行する幼稚園の準備に必要な経費を支援する。
- (3) 園務を改善し、幼稚園教諭の事務負担を軽減するため、業務のICT化に係る費用を補助する。

○内容

- (1) 幼児教育の質の向上のための緊急環境整備
 - ・補助対象：学校法人
 - ・補助対象経費：遊具等の環境整備に要する経費
 - ・補助率：認定子ども園を構成する幼稚園 1/2、それ以外 1/3
- (2) 認定子ども園等への円滑な移行のための準備支援補助
 - ・補助対象：学校法人（認定子ども園への移行を予定する幼稚園）
 - ・補助対象経費：認定子ども園の認定等に係る申請書作成等を行うために雇用了事務職員等の雇上費等
 - ・補助率：1/2
- (3) 園務改善のためのICT化支援補助
 - ・補助対象：学校法人
 - ・補助対象経費：システム導入に必要な購入費、改修費等
 - ・補助率：3/4

県民防犯推進	19,750	消費生活課
--------	--------	-------

○目的・趣旨

地域の防犯力を高めるための各種啓発事業を実施するとともに、子どもや女性の安全確保対策を実施する。

○内容

- ・毎月16日の「県民防犯の日」を中心に県民の防犯意識を高めるための各種啓発イベントを実施する。
- ・自治会や老人クラブ等を対象とした防犯出前講座の開催
- ・子どもを対象とした防犯出前講座の開催
- ・女性のための防犯ハンドブックの作成・配布
- ・地域安全マップづくりの指導者養成講習会の開催、講師派遣等の支援
- ・特殊詐欺被害防止のための講座や研修の開催

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
新しい有害環境から子どもを守る取組推進	3,674	子育て・青少年課

○目的・趣旨

インターネット利用による有害情報から子どもたちを守るため、この問題についての基本的知識や技能を持った市民インストラクターで構成する団体の活動を支援するとともに、「おぜのかみさま県民運動」を推進する。

○内容

- ・市民インストラクターで組織する「ぐんま子どもセーフネット活動委員会」が実施する講習会、携帯インターネット利用の現状把握などの活動を支援する。
- ・子どもたちが安全・安心にインターネットを利用できるよう、セーフネット標語「おぜのかみさま」の普及・啓発を官民一体となって推進し、被害の発生を未然に防止する。

幼児教育・保育の無償化	1,332,061	子育て・青少年課
-------------	-----------	----------

○目的・趣旨

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育・保育の重要性や、幼児教育・保育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組む。

○内容

2019年10月から始まる幼児教育・保育の無償化（主に3歳から5歳までの子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについての幼稚園、保育所、認定こども園の利用者負担額）に係る経費を負担する。

- ・補助対象：市町村
- ・補助率：国10/10（2019年度限り）

認定こども園整備	684,051	子育て・青少年課
----------	---------	----------

○目的・趣旨

- (1) 認定こども園が実施する遊具等の環境整備に要する経費の一部を補助することにより、質の高い環境で子どもを安心して育てることができる体制を整備する。
- (2) 市町村が策定する整備計画等に基づき、認定こども園及び認定こども園への移行を予定する教育・保育施設に係る幼稚園機能を追加するための施設整備に対して補助する。

○内容

- (1) 幼児教育の質の向上のための緊急環境整備
 - ・補助対象：社会福祉法人（幼保連携型認定こども園に限る）
 - ・補助対象経費：遊具等の環境整備に要する経費
 - ・補助率：国1/2
- (2) 認定こども園整備事業費補助
 - ・補助対象：市町村
 - ・補助対象経費：施設整備に要する経費
 - ・補助率：国1/2、市町村1/4

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
保育所等緊急整備	31,110	子育て・青少年課

○目的・趣旨

市町村が策定する整備計画等に基づく民間保育所等の施設整備に対し、安心子ども基金を活用して補助する。

○内容

- ・補助対象：市町村
- ・補助対象経費：施設整備に要する経費
- ・補助率：国1/2、市町村1/4

勤労者教育資金貸付	233,169	労働政策課
-----------	---------	-------

○目的・趣旨

県内に居住する勤労者及びその子弟が高等学校・大学等で必要な教育資金を中央労働金庫を通じて融資する。

○内容

- ・貸付限度額 200万円
- ・金利 年1.7% (別途保証料0.4%)
- ・返済期間 10年 (うち据置4年以内)

失業者緊急教育資金貸付	4,544	労働政策課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

県内に居住する失業者等の子弟が高等学校・大学等で必要な教育資金を中央労働金庫を通じて融資する。

○内容

- ・貸付限度額 100万円
- ・金利 年1.2% (別途保証料0.4%)
- ・返済期間 10年 (うち据置4年以内)

交通指導員活動促進	3,750	道路管理課
-----------	-------	-------

○目的・趣旨

地域における交通安全対策として、児童生徒が安全に登下校できるよう交通指導員の活動促進を図るため、市町村を支援する。

○内容

- 新規交通指導員への制服代を補助する。
- ・1人あたり37,500円×100人

スタントマンによる自転車安全教室	1,050	道路管理課
------------------	-------	-------

○目的・趣旨

高校生の自転車事故が多く、また、初心運転者事故者率が高いことから、高校生を対象に参加・体験・実践型の自転車安全教室を実施し、交通安全のルール・マナーの向上を図るとともに、将来の運転者教育の基礎を養う。

○内容

高校生を対象に、スタントマンによる交通事故再現の自転車安全教室を年3校実施する。また、高齢者の自転車事故も多いことから、併せて、高齢者にも参加を案内し、実施する。

6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
高校生の体験型交通安全教室	—	道路管理課

○目的・趣旨

自転車事故に高校生が占める割合が約3割と全国平均を大きく上回っていることから、交通事故防止に必要な技量を身につけさせ、将来の良識ある交通社会人の育成を図る。

○内容

本田技研工業(株)の協力により、高校生を対象に自転車による体験型の交通安全教育を実施する。

安全な自転車通行空間の整備	50,000	道路管理課
---------------	--------	-------

○目的・趣旨

本県は人口当たりの交通事故発生件数が多く、特に人口当たりの中高生の自転車事故発生件数は全国1位となっている。そこで、自転車が安心して走行できる空間の整備を行い、自転車利用者の安全を図る。

○内容

中学生自転車通学経路の事故削減のため、路肩を含む車道に自転車が安全に走行できる通行空間として、矢羽根型路面表示を設置する。

非行少年を生まない社会づくり対策	7,172	(警) 少年課
------------------	-------	---------

○目的・趣旨

少年の非行防止及び再非行防止を目的として、関係機関との緊密な連携により、積極的に少年に手を差し伸べて非行少年を生まない社会づくり活動の推進及び青少年の健全育成を図るとともに、少年の福祉を害する犯罪の検挙を推進する。

○内容

少年非行に関する情報発信の推進「少年の居場所づくり活動」、「少年警察ボランティアによる街頭補導及び声かけ運動」、「少年非行防止教室」等の施策を実施する。

スクールサポーター制度	31,456	(警) 少年課
-------------	--------	---------

○目的・趣旨

スクールサポーター(非常勤嘱託員)制度を充実し、学校内や登下校時における子どもの安全確保の強化を図る。

○内容

学校や保護者、地域等と協働し、「少年の非行防止及び立直り支援」、「学校等における児童等の安全確保対策」、「非行・犯罪被害防止教育の支援」、「地域安全情報等の把握と提供」等の活動を実施する。

子どものための交通安全教室	663	(警) 交通企画課
---------------	-----	-----------

○目的・趣旨

子どもを交通事故から守るため、理解しやすく効果的な交通安全教育を実施する。

○内容

腹話術人形や着ぐるみ等を活用した「学校・幼稚園・保育所等における交通安全教室」や交通安全学習館における参加・体験・実践型の交通安全教育を実施する。

7 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進

〈質の高い就学前の教育の推進〉〈家庭教育支援の推進〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
幼児教育応援	572	総合教育センター

○目的・趣旨

保育アドバイザーの派遣や「タやけ保育研修会」等の実施により、幼児のいる家庭の教育力の向上や、保育所・認定こども園・幼稚園等の教職員の資質・能力の向上を図る。

○内容

- ・学校(園)や地域で開催する講演会や研修会等に、幼児教育や家庭教育の専門的な知識・技能を有する保育アドバイザーを講師として派遣する。
- ・子育て支援関係者や保育所・認定こども園・幼稚園等の教職員を対象に「タやけ保育研修会」を実施する。

「就学前のぐんまの子ども はぐくみプラン」推進事業	69	義務教育課
---------------------------	----	-------

○目的・趣旨

「就学前のぐんまの子ども はぐくみプラン」の活用を推進し、本県の幼児期の教育及び保育の充実を図る。

○内容

- ・「就学前のぐんまの子ども はぐくみプラン」の周知及び活用推進していくための会議を実施する。

家庭教育応援	696	生涯学習課
--------	-----	-------

○目的・趣旨

全ての家庭が主体的に家庭教育に取り組めるよう、親又は保護者への学習の場の提供や家庭教育支援団体への支援、関係団体の連携促進等により、社会全体で家庭教育を応援する機運を高める。

○内容

- ・親としての心構えや親子の関わり方についての気づきや親同士の交流を促すツールである「親の学びプログラム」の進行役(ファシリテーター)を養成する。
- ・家庭教育応援フォーラム及び地区別家庭教育支援連携会議、地区別家庭教育支援連携モデル事業を開催する。
- ・地区別家庭教育支援連携モデル事業啓発リーフレットを作成し各種研修会等で配布する。
- ・県及び市町村の家庭教育支援担当者等を対象とした研修会を実施する。
- ・群馬県いきいきGカンパニー認証企業の依頼に応じ、家庭教育研修会に係る講師を派遣する。

7 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進

〈家庭教育支援の推進〉〈学校・地域の連携・協働の充実〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
健康教育総合推進	323	健康体育課

○目的・趣旨

児童生徒に対する健康教育について、生涯を通じて心身ともに健康で安全な生活を送るための基礎を培う観点から、学校、家庭、地域が一体となって、児童生徒の健康に関する課題解決のための方策を包括的に講じていく地域ぐるみの実践研究を行う。

○内容

- ・学校、家庭、地域が一体となって、「育てたい子ども像」「人間像」を明確にし、実態に即し、地域ぐるみで子どもの健康課題の解決のための方策を講じ、改善を目指す。
- ・これまでに実施した健康課題の解決のための方策等についての検証を行う。

地域学校協働活動推進事業	35,508	生涯学習課
--------------	--------	-------

○目的・趣旨

地域と学校が連携・協働し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた様々な活動を推進する。

○内容

【主な活動等】

- ・放課後子ども教室（22市町村62教室（予定））
放課後や週末等において、子どもたちの安心・安全な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する取組を推進する。
- ・外部人材を活用した教育支援活動（9町村17箇所（予定））
土曜日等の教育活動を充実するため、多様な経験や技能を持つ外部人材等の参画による教育プログラムを実施する取組を推進する。
- ・地域未来塾（6町村6教室（予定））
学習が遅れがちな中学生等に対し、地域と学校の連携・協働による学習支援を行う。
- ・地域学校協働本部（6市町村9本部（予定））
学びによるまちづくりや、地域課題解決型学習、地域人材育成、郷土学習、地域行事への参加、ボランティア・体験活動、学校周辺環境整備などの取組を、地域と学校が連携・協働して行う。

学校支援センター運営推進	582	生涯学習課
--------------	-----	-------

○目的・趣旨

県内全ての市町村立小・中・特別支援学校に設置されている「学校支援センター」の取組を工夫・改善し、地域住民と子どもたちの交流（つながり）を深め、学校を拠点とした地域づくりを推進する。

○内容

- ・コーディネーターの養成や、学校支援ボランティア活動の一層の充実と活用を推進するための研修会を開催する。
- ・地域の実情にあった学校支援センター運営等の検討を行う推進会議を開催する。

7 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
預かり保育推進事業費補助	8,660	学事法制課

○目的・趣旨

預かり保育を行っている私立幼稚園に対して、必要な経費を補助することにより、私立幼稚園における保護者や地域ニーズへの弾力的な対応の促進と、保護者及び幼稚園設置者の経済的負担の軽減を図る。

○内容

- ・補助対象：私立幼稚園を設置する学校法人等
- ・補助対象経費：預かり保育の実施に必要な経費
- ・補助率：定額

子育て支援推進事業費補助	4,200	学事法制課
--------------	-------	-------

○目的・趣旨

子育て支援を実施する私立幼稚園に対して、必要な経費を補助することにより、私立幼稚園の活性化及び地域の子育て力の向上を図る。

○内容

- ・補助対象：私立幼稚園を設置する学校法人
- ・補助対象経費：子育て支援事業実施にかかる経費
- ・補助率：3/4

発達障害者支援センター運営	12,107	障害政策課
---------------	--------	-------

○目的・趣旨

発達障害児者及び家族への支援の拠点として、発達障害者支援法に基づき設置・運営する。

○内容

発達障害を持つ児童や保護者に対し、相談支援・発達支援・就労支援等の専門的・総合的な支援を行うとともに、発達障害に関する啓発等を実施する。

障害児療育体制整備	44,857	障害政策課
-----------	--------	-------

○目的・趣旨

保健・医療・福祉・教育の連携の下、乳幼児期から学齢期までの障害のある子どもに対する総合的な療育体制の推進を図る。

○内容

- ・ネットワーク推進会議
県内5地域で、関係者によるネットワーク化や支援体制の整備等について推進する。
- ・地域療育相談事業
各地域に専門スタッフを配置し、療育相談、早期療育事業等を実施する。

7 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
環境サポートセンター運営	6,234	環境政策課

○目的・趣旨

環境学習や環境活動の県の総合窓口として、群馬県環境サポートセンターを運営し、県民・企業・団体等との連携・協働を図り、学校や地域における環境学習や県民の環境保全活動を支援する。

○内容

- ・環境学習、環境活動に関する相談窓口と「動く環境教室」の受付、実施
- ・環境学習の参考図書や資料提供、実験機材の貸出

こども環境教育推進	2,851	環境政策課
-----------	-------	-------

○目的・趣旨

子どもたちの環境保全意識を養うため、地域における「こどもエコクラブ」の活動や子ども向け環境学習会の開催を支援する。また、小中学校等における体験型の環境学習を支援する。

○内容

- ・こどもエコクラブサポーターズ・ニュース等の発行
- ・こどもエコクラブ学習会・交流会（活動発表会）の開催
- ・小中学校からの要望に基づき、移動環境学習車による「動く環境教室」の実施

多面的機能支払	812,043	農村整備課
---------	---------	-------

○目的・趣旨

農地・農業用水等の資源や農村環境の保全を図るため、子どもたちも含めた地域ぐるみでの効果の高い協働活動に取り組む組織を支援する。

○内容

- ・田んぼのあぜ、農業用水路や農道の脇等の草刈り、花の植栽などの景観づくり
- ・生態系保全等の活動経費等の支援

8 生涯学習社会の構築〈多様な課題に対応した学習機会の充実〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
生涯学習センター運営	87,246	生涯学習課

○目的・趣旨

生涯学習推進の中核的施設として、市町村や関係機関・団体と連携を図りながら、県民の生涯学習活動を支援する。

○内容

- ・少年科学館（科学展示室・プラネタリウム）の運営
 - ・家庭教育に関する指導者の養成
 - ・生涯学習情報提供システム「まなびねっとぐんま」の運営
 - ・ぐんま県民カレッジの運営
- ほか

国重文指定文書保存整理	2,086	文書館
-------------	-------	-----

○目的・趣旨

国重要文化財に指定された「群馬県行政文書」（群馬県が誕生した明治時代から昭和22年(1947年)地方自治法制定までの約80年間に県庁で作成、受領等された公文書で、近代の本県の諸分野にわたる基本政策等を知る上での基本資料）を国庫補助事業により修理するとともに、デジタル化等により県民の利用に供する。

○内容

国指定重要文化財「群馬県行政文書」のうち、未修理である明治期絵図（壬申地券地引絵図ほか）の修理及びデジタル化による公開をする。

教育普及活動	795	文書館
--------	-----	-----

○目的・趣旨

歴史資料としての古文書及び公文書等を通じて県民が郷土の歴史に対する理解を深められるよう、調査、研究に基づく展示会、解説会、講演会や、古文書読解力を養う各種古文書講座を開催する。

○内容

- ・常設展示、テーマ展示、新規公開文書展などの展示会を開催
- ・貴重な原本史料等の解説会を開催
- ・特色有る史料に関する講演会を開催
- ・古文書読解力養成の古文書入門講座、長期古文書講座を開催

文書館運営	40,458	文書館
-------	--------	-----

○目的・趣旨

地域の歴史を伝える古文書や県の行政活動の記録である公文書等を県民が閲覧利用できる場を提供するとともに、それらを適切に保存し、後世に引き継ぐ。

○内容

- ・郷土に関する歴史的価値のある古文書や記録、県の行政文書や行政資料を収集、整理するとともに、県民が利用しやすい閲覧環境を整える。
- ・貴重な資料の劣化を防いで確実に後世に伝えるため、温度、湿度の管理等による安定した保存環境を維持する。

8 生涯学習社会の構築〈地域の学びを支える人材づくり〉

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
社会教育委員会議運営	700	生涯学習課

○目的・趣旨

社会教育法に基づき教育委員会が委嘱する群馬県社会教育委員の会議を開催し、社会教育に関し助言等を受ける。

○内容

定例会、臨時会、視察等を開催し、重点施策の取組等について協議を行う。

社会教育委員研究会議	147	生涯学習課
------------	-----	-------

○目的・趣旨

県内各市町村の社会教育委員が、それぞれの地域における社会教育諸活動の状況や研究の成果を交換し合うとともに、社会教育の今日的課題の解決をめざして研究協議を行う。

○内容

- ・県及び市町村の新任社会教育委員を対象とした研修会を実施する。
- ・県及び市町村社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会した県社会教育研究大会を実施する。

社会教育研修支援	764	生涯学習課
----------	-----	-------

○目的・趣旨

各市町村の生涯学習・社会教育を広域的観点から推進し、特色ある社会教育活動を振興するため、地域の特性や実情等を生かした実践的な研修を行い、関係職員やPTA役員の資質の向上を図る。

○内容

- ・各教育事務所ごとに、市町村社会教育主事、公民館主事、教職員等社会教育行政関係者が研究討議するための地区別研修講座を実施する。
- ・年度当初に、県及び市町村社会教育主事（社会教育行政関係者）等が一堂に会し、県の社会教育関係重点施策説明及びスキルアップのための講演を内容とする研修会を実施する。
- ・教育事務所ごとに、国公立の各単位PTAにおいて、新しく役員・委員になった者を中心に各管内関係者に広く参加を呼びかけ、PTA活動のより良いあり方等についての研修会を実施する。

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
とらいあぐるんセミナー	152	県民生活課

○目的・趣旨

男女共同参画の視点から社会を見つめ直す講座を開催することにより、男女共同参画の普及・啓発と推進を図る。

○内 容

男女共同参画に係る3回の講座を開催する。

男性向けセミナー	138	県民生活課
----------	-----	-------

○目的・趣旨

男性を対象とする事業を実施し、男女共同参画の普及・啓発と推進を図る。

○内 容

父親のための子育て支援講座等を開催する。

消費者行政活性化推進(消費者教育)	147	消費生活課
-------------------	-----	-------

○目的・趣旨

消費者教育に関する施策の推進について、第2次群馬県消費者基本計画に基づき、多様な場における消費者教育の推進や消費者教育の人材(担い手)の育成及び活用、「消費者市民社会」構築を図るための施策を実施する。

○内 容

- ・消費者学習公開講座の実施

消費者被害防止対策	140	消費生活課
-----------	-----	-------

○目的・趣旨

高齢者等の消費者被害を防止するための対策を実施する。

○内 容

- ・高齢者と接する機会の多いケアマネージャー向けの研修会を開催し、消費者被害の現状理解を促し、被害の未然防止や早期発見・解決につなげる。
- ・日常的に高齢者等に接している事業者と見守り協定を結び、総合的な見守り体制の整備と消費者啓発を行う。

近代美術館企画展示	38,243	文化振興課
-----------	--------	-------

○目的・趣旨

国内外の優れた美術作品を、調査・研究に基づくわかりやすいテーマのもとに紹介し、本物の体験と本物の感動を与え、豊かな心を育てる。

○内 容

- ・「くまのパディントンTM展」
会期：2019年4月20日(土)～6月23日(日)
- ・「長島有里枝×竹村京「まえといま」」
会期：2019年7月13日(土)～9月1日(日)
- ・「没後70年 森村西三とその時代」
会期：2019年9月21日(土)～11月10日(日)
- ・「西洋近代美術にみる 神話の世界」
会期：2020年2月8日(土)～3月22日(日)

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
館林美術館企画展示	32,267	文化振興課

○目的・趣旨

当美術館のテーマ「自然と人間」に沿って、近代美術館と連携をとりながら、国内外の優れた美術作品を展示することで県民の美術に対する知識を深め、美的教養を養い、本県美術の向上を図る。

○内容

- ・「熊谷守一 いのちを見つめて」
会期：2019年4月20日（土）～6月23日（日）
- ・「みつめる一見ることの不思議と向き合う作家たち」（仮称）
会期：2019年7月13日（土）～9月16日（月・祝）
- ・「ピカソ《ゲルニカ》の世界展」（仮称）
会期：2019年10月5日（土）～12月8日（日）

歴史博物館企画展示	43,804	文化振興課
-----------	--------	-------

○目的・趣旨

原始から近現代に至る通史での資料の展示を通して、県民の歴史に対する幅広い関心に応えるとともに、群馬県の歴史・文化に関する理解を深める。

○内容

- ・開館40周年記念「大新田氏展」
会期：2019年4月27日（土）～6月16日（日）
- ・開館40周年記念「生まれ！ぐままのはにわたち～日本一の埴輪県～」
会期：2019年7月13日（土）～9月1日（日）
- ・開館40周年記念「ハート形土偶 大集合！！
—縄文のかたち・美、そして岡本太郎—」
会期：2019年9月28日（土）～12月1日（日）
- ・特別収蔵品展「日本画の美」
会期：2020年1月4日（土）～2月24日（月・祝）

自然史博物館企画展示	39,957	文化振興課
------------	--------	-------

○目的・趣旨

調査研究の結果と資料の収集や展示の工夫などを通して、地球の生い立ちから生物の進化、また、本県の自然の現状とその変遷について県民の理解を深める。

○内容

- ・「谷川連峰～絶景といのちが織りなすエコパークの山々～」
会期：2019年3月23日（土）～5月19日（日）
- ・「同居いきもの図鑑」
会期：2019年7月13日（土）～9月1日（日）
- ・「海の森」
会期：2019年10月5日（土）～12月1日（日）
- ・「空にいどんだ勇者たち」
会期：2020年3月21日（土）～6月7日（日）

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
土屋文明記念文学館企画展示	11,782	文化振興課

○目的・趣旨

群馬県ゆかりの文学者の資料を中心に展示し、文学に関する県民の理解を深める。

○内容

- ・「ミステリー小説の夜明け－江戸川乱歩、横溝正史、渡辺啓助、渡辺温－」
会期：2019年4月13日（土）～6月9日（日）
- ・「新美南吉「ごんぎつね」の世界－教科書で学んだ文学－」（仮称）
会期：2019年7月13日（土）～9月23日（月・祝）
- ・萩原恭次郎生誕120年記念展「移りゆく時代と詩人たち」（仮称）
会期：2019年10月5日（土）～12月15日（日）
- ・「掛軸になった文学」（仮称）
会期：2020年1月11日（土）～3月15日（日）

ぐんまこどもの国児童会館管理委託	155,173	子育て・青少年課
------------------	---------	----------

○目的・趣旨

子どもたちが安心して楽しむことができる遊びの場の機能、子どものための科学館・文化館としての機能及び地域の児童館の運営支援の機能の提供を通して、次代を担う子どもたちの健全な育成を推進する。

○内容

遊びを通して科学を学べるサイエンスワンダーランド、高画質のデジタル映像を全天周に投影できるシステムを備えたプラネタリウム、クラフトルーム、パソコンルーム、こども図書室などのほか、絵画や児童作品を募集する「ぐんまこどもの夢大賞」など、子どもの学習文化活動のための様々な事業を実施する。

群馬県長寿社会づくり財団運営	82,438	介護高齢課
----------------	--------	-------

○目的・趣旨

高齢者が生き生きと豊かに暮らせる明るい長寿社会の実現に寄与することを目的に設立された(公財)群馬県長寿社会づくり財団の運営を支援する。

○内容

(公財)群馬県長寿社会づくり財団が行う、高齢者の生きがいがづくり、健康づくり等を促進するための諸事業に対して補助する。

群馬県老人クラブ連合会補助	9,316	介護高齢課
---------------	-------	-------

○目的・趣旨

老人クラブの健全な育成及び地域における地域福祉の増進を図る。

○内容

(一財)群馬県老人クラブ連合会が行うスポーツ大会や高齢者相互支援推進事業研修会、高齢消費者被害防止キャンペーン等各種事業の経費を補助する。

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
高齢者の生きがいと健康づくり支援	34,981	介護高齢課

○目的・趣旨

老人クラブ活動等のより一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図る。

○内 容

単位老人クラブ、市町村老人クラブ連合会に対して、会員数等の基準により事業・運営費の支援を行うほか、社会参加・自立支援等を図る事業を実施する市町村老人クラブ連合会に補助する。

障害者の週末活動支援	17,514	障害政策課
------------	--------	-------

○目的・趣旨

障害のある人に身近な地域における週末活動の場を提供することで、生きがいづくりを支援するとともに生活の安定や就労の定着を図る。

○内 容

障害者就業・生活支援センターに支援員を配置し、特別支援学校等を活用した障害者の週末活動の場づくり等を行う。

緑の少年団育成	4,654	緑化推進課
---------	-------	-------

○目的・趣旨

次代を担う子ども達に森林や緑の重要性を学んでもらい、心豊かな人間性を育てる。

○内 容

- ・緑の少年団運営費補助：少年団の日常的な運営を支援する。
- ・がんばれ！緑の少年団補助：積極的な活動を行う少年団の独自の取り組みを支援する。

緑化センター運営	14,333	緑化推進課
----------	--------	-------

○目的・趣旨

緑化技術の指導や緑化に関する普及啓発を行い、緑豊かな潤いのある生活環境づくりを推進する。

○内 容

- ・緑化講座、日曜緑化講座、出張緑化講座
家庭緑化推進のため、庭づくり等に参考となる講習会を開催する。
- ・森林楽習講座
小中学校などが、緑化センター若しくは学校近くの森などで実施する森林環境教育を支援する。また、森林や緑に親しみ関心を高めてもらうため、一般県民を対象とした講座を開催する。
- ・緑の相談室
県民からの緑化相談に応じて、緑化技術の普及・指導を実施する。

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
森林学習センター運営	13,216	緑化推進課

○目的・趣旨

森林・自然の機能や大切さを理解してもらうことを目的に、県民に森林体験活動の場を提供し、併せて啓発行事を開催して県民参加の森づくりへとつなげる。

○内 容

- ・森林ふれあい学習推進
小学生の親子等を対象に森林や自然を体験する行事を開催する。
- ・小中学校の森林学習の受け入れ
- ・憩の森自然講座
県民を対象に、楽しみながら自然や森林の役割について学べる講座と森林観察会を開催する。

地域環境活動推進	1,005	環境政策課
----------	-------	-------

○目的・趣旨

県民に身近な場所における環境学習の機会を提供する。

○内 容

環境アドバイザーに環境学習会の企画・立案・実施を委託

地球温暖化防止地域活動推進	1,024	環境政策課
---------------	-------	-------

○目的・趣旨

地球温暖化対策に関する情報や知識の普及等の活動を行う地球温暖化防止活動推進員を委嘱し、その活動支援を行う。

○内 容

研修会の開催や地球温暖化の現状・対策・事業、推進員の活動報告等を「推進員ニュース」として情報提供するなど、地球温暖化防止活動推進員の活動を支援する。

ぐんまエコスタイル推進	2,048	環境政策課
-------------	-------	-------

○目的・趣旨

温暖化防止行動がライフスタイルとして定着した低炭素社会の実現を目指し、各家庭で取り組める温暖化防止行動の普及・啓発を行う。

○内 容

地域の集まりなどを利用して環境に優しい生活についての出前講座を実施する。

「ぐんま農業実践学校」推進	3,241	農業構造政策課(農林大)
---------------	-------	--------------

○目的・趣旨

県内で就農を希望する人を対象に農業の基礎的な知識・技術等を習得し、円滑な就農を支援するため、「ぐんま農業実践学校」を実施する。

○内 容

- ・野菜専門技術課程：野菜の栽培技術や就農に必要な専門知識を習得する。
- ・野菜基礎技術課程：4コースに分かれ、基本的な野菜栽培技術を習得する。
- ・推進品目課程：露地ナス・秋冬ネギの専門的な栽培技術を習得する。
- ・農業体験講座：農業に関する基礎講座や農作業体験を実施する。

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
ぐんまフラワーパーク運営	174,107	蚕糸園芸課

○目的・趣旨

県民に「花と緑に親しむ憩いの場」と「花と緑に関する学習の場」を提供する。

○内容

- ・園内全体で、花と緑の普及啓発や花きについての展示を行う。
- ・花と緑の学習館で、小中高生等を対象とした園芸教室や体験実習を実施する。

学校給食米・麦・大豆利用推進事業	1,022	蚕糸園芸課
------------------	-------	-------

○目的・趣旨

学校給食において、米・麦・大豆の新品種を使用したご飯等を提供することにより、県産食材への関心を高めるとともに、新品種の需要拡大・品種転換等及び地産地消の推進を図る。

○内容

県の新たな奨励品種等を使用した食品を、学校給食で提供する取り組みを支援する。

日本絹の里運営	96,179	蚕糸園芸課
---------	--------	-------

○目的・趣旨

蚕糸及び絹に関する県民の理解を深めるため、伝統ある絹文化や養蚕技術等の学習機会を提供する。

○内容

- ・絹文化の歴史、蚕糸絹業の技術等に関する展示や講演会等を実施する。
- ・染織、繭クラフト等の体験教室を開催する。
- ・地域の小中学校と連携して学校教育等での施設利用を促進し、学習機会を提供する。
- ・カイコ飼育セットを頒布し、カイコ飼育の実体験の機会を提供する。

食農教育サポート	400	ぐんまブランド推進課
----------	-----	------------

○目的・趣旨

「食」「農」への関心を高め、理解を促すことにより、郷土の誇りの醸成や地域農産物の消費拡大、更には、地域活性化を目的とする。

○内容

県内の「食」、「食材」の掘り起こしを行い、その「食」、「食材」を作り出す地域農業などの理解促進のため、広報媒体を活用して広く情報提供を行う。

学校給食地場産農産物等利用促進	157	ぐんまブランド推進課
-----------------	-----	------------

○目的・趣旨

子どもが学校給食を通じて郷土料理やその食材への関心を持ち、地域農業への理解を深めてもらうために、学校給食における地場産農産物の利用促進を図る。

○内容

学校給食における地場産農産物の利用を促進するために、学校給食関係者、食材供給者等を参集し、講演会を開催する。

8 生涯学習社会の構築【他部局関連】

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
「どろんっ子新聞」の発行	200	農村整備課

○目的・趣旨

農地や農業用水路など農業農村に関する分かりやすいパンフレットを作成し、県内各小学校に配布して子どもたちに農業農村が果たす役割について理解を深めてもらう。

○内容

- ・発行回数：年1回
- ・発行内容：壁新聞
- ・配布先：県内各小学校、県関係機関、各市町村、各土地改良区

公共交通機関利用促進	1,134	交通政策課
------------	-------	-------

○目的・趣旨

公共交通は、高齢化、地球温暖化の進展などの観点から重要性を増しており、未来を担う世代に公共交通の重要性を伝え、公共交通の維持存続と活性化を図る。

○内容

- ・小学生を対象に、「公共交通乗り方ガイドブック」を活用し、学校、交通事業者等と連携の上、公共交通の必要性や乗り方などを学ぶ「公共交通教室」を開催する。
- ・県内高校等の新入生を対象に、通学時の公共交通機関利用促進を図るため、「エコ通学のススメ」リーフレットを作成し、配付する。

住宅関連情報提供	19,818	住宅政策課
----------	--------	-------

○目的・趣旨

住宅に関する相談需要に対する総合窓口として、群馬県住宅供給公社の「ぐんま住まいの相談センター」で様々な情報を提供することにより、県民の住まいや住まい方に関する知識を向上し、安全・安心な住宅の取得、豊かな住生活の実現を支援する。

○内容

- ・住宅に関する常時相談の実施
- ・住宅に関する各専門家による専門相談会の実施
- ・住まいづくりセミナーの開催
- ・群馬大学、県内小中学校と連携した住教育の実施

9 その他

事業名(事項名)	予算額(千円)	担当課
職員給与	133,550,098	(教)総務課 管理課

○内容

給与費予算額

・事務局職員	4,443,848千円	・高等学校	28,254,819千円
・小学校	54,121,577千円	・特別支援学校	13,717,535千円
・中学校	32,475,765千円		
・中等教育学校(前期)	272,996千円		
・中等教育学校(後期)	263,558千円	合 計	133,550,098千円

教職員退職手当	14,517,274	福利課
---------	------------	-----

○目的・趣旨

公立小・中・特別支援学校及び市立高等学校（定時制）県費負担教職員並びに県立学校の教職員が退職した場合に退職手当を支給する。

○内容

退職者数	670人（見込数）	内訳	定年退職	507人
			勸奨退職	110人
			普通退職	53人

公立学校共済組合福祉事業補助	73,015	福利課
----------------	--------	-----

○目的・趣旨

公立学校共済組合群馬支部が実施する健康管理事業に対して補助することにより、教職員の健康保持増進を図る。

○内容

人間ドック助成、骨密度検診及び教職員カウンセリングに対して補助する。